

平成28年度

事業報告書

平成28年度 大牟田市社会福祉協議会 事業報告

平成 28 年度は、第3次大牟田市地域福祉計画・地域福祉実践計画（平成 27 年度～平成 31 年度までの5年間）の2年目でありました。

第3次大牟田市地域福祉実践計画の重点項目には、生活困窮者自立支援法施行に基づき、生活困窮者セーフティーネット（包括的・個別的な支援や早期的・継続的な支援等）の役割を担っていくこと、また 2025 年を見据えた地域包括ケアシステムの構築に向けての仕組みづくりが盛り込まれており、本会は 2025 年までの助走期間として、大牟田市とともに、3つの基本目標を定めて事業展開していくこととしています。

- 【基本目標1】つながりを育むひとづくり
- 【基本目標2】みんなで支え合う地域づくり
- 【基本目標3】生活課題の解決に向けた包括的な仕組みづくり

このような計画のもと、平成 28 年度は、限られた人材や予算を鑑みて、様々な事業の分析・棚卸を行い、事業の優先度を踏まえ、特に地域における深刻な生活課題の解決や孤立防止に向け、地域支え合いマップの作成をはじめ「新たな地域支え合い活動」を推進してまいりました。

また、平成 28 年度は、「社会福祉法人制度改革」の年でもあり、改革に見られるように組織運営体制や財務規律の強化、加えて様々な地域課題に対して、既存の制度や市場原理では満たされないニーズについて、社会福祉法人が率先して対応する取組みが求められることになります。それを受け、本会でも制度の狭間となっている様々な生活課題にも積極的にアプローチし、住民に寄り添い、問題解決に努めてきたところです。

以上を踏まえて、平成 28 年度の特記すべき事項や活動の進捗として

- ① 社会福祉法人制度改革に伴い、定款変更を行ったこと
主な見直しポイントとして、下記を定款に明記したこと
 - 経営組織のガバナンスの強化
 - 評議員会の権限の強化
 - 地域における公益的な取組みを実施する責務
- ② 生活支援サービスの充実
本会は、地域包括ケアシステムのうち、「生活支援」の一翼を担わなければならないと考えていることから、小地域ネットワーク活動やふれあいサロン活動、住民参加型在宅福祉サービス、日常生活自立支援事業（金銭管理等）などの生活支援サービスの更なる充実に努めた。
- ③ 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会（以下、「社福公益協」という。）との協働
昨年度設立した社福公益協は、制度の狭間となる課題に対して「生活困窮者レスキュー事業（ゴミ屋敷、食料支援、緊急時の資金貸付等）」を活用し、スピードをもって実践した。事業周知とともに取扱い件数も増えており、社会福祉法人が地域セーフティーネットの役割を果たしているところである。
加入法人は、設立当初 16 法人から平成 28 年度末で 19 法人の参画となった。

一方で、終息させた事業として

- ① 平成 28 年 9 月末をもって、“まちの縁側「築町えいる」”を事業終息させたこと。
- ② 平成 28 年度中に事業終息（閉店）を予定していた “市立病院ホスピタルローソン”
についても、平成 28 年 9 月末をもって、ローソンとのフランチャイズ契約解除の手続き（完全撤退）に至ったこと。

平成 28 年度の事業報告については、次のとおりです。

**【基本目標1】つながりを育む人づくり
支え合いのあるまちづくりの担い手を育成します。**

(1) 福祉教育推進事業

① 全世代型福祉教育プログラムの開発

① 地域福祉を推進していくための福祉教育のあり方についての研究協議

地域を基盤とした福祉教育の展開を検討するチームを設け、研究協議を重ねた。この過程で、現在の福祉教育プログラムでは、リフレクション（ふりかえり）を促進するための活動が十分でないことが明らかになった。また、お互いを認め合える関係づくり、当事者と共に取り組む機会づくりが課題であることがわかった。

実施月日	主な内容
平成 28 年 5 月 2 日	第 1 回：解決したい地域課題の設定
平成 28 年 5 月 6 日	第 2 回：課題解決に資する組織等の洗い出し
平成 28 年 5 月 9 日	第 3 回：伝達研修
平成 28 年 5 月 13 日	第 4 回：めざす地域像を描く
平成 28 年 6 月 1 日	第 5 回：チームメンバーがお互いを知り合う
平成 28 年 6 月 6 日	第 6 回：取組課題の緊急度・重要度の確認
平成 28 年 6 月 14 日	第 7 回：合意形成手法の研究
平成 28 年 6 月 23 日	第 8 回：伝達研修
平成 28 年 6 月 30 日	第 9 回：大切にすることの明文化
平成 28 年 7 月 21 日	第 10 回：演繹法と帰納法の違いの理解
平成 28 年 7 月 28 日	第 11 回：地域支えあいマップの研究
平成 28 年 9 月 12 日	第 12 回：立場の違いによる情報ニーズの研究
平成 28 年 9 月 29 日	第 13 回：筑後市社協の取り組みの視察
平成 28 年 11 月 1 日	第 14 回：アイスブレイクの研究
平成 28 年 12 月 1 日	第 15 回：チームづくり手法の研究
平成 28 年 12 月 16 日	第 16 回：学びあいの機会と変化に関する研究
平成 29 年 1 月 19 日	第 17 回：学びあいの機会と変化に関する研究
平成 29 年 1 月 26 日	第 18 回：アイスブレイクの研究

② 地域福祉を推進していくための福祉教育を推進する人材の育成

「持続可能な社会・地域づくりのための学びあいフォーラム（主催：特定非営利活動法人開発教育協会）」の参加を通じて、地域づくりにおける学びをコーディネートできる能力の向上を図った。

実施月日	主な内容
平成 28 年 5 月 7 日 ～5 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな角度から地域を見る ・ 実践計画の作成
平成 28 年 6 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんな地域を目指すのか ・ どんな変化を起こしたいのか
平成 28 年 7 月～12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域の実践共有
平成 29 年 2 月 18 日 ～2 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びと変化のリフレクション（ふりかえり） ・ 開発教育フォーラムにおける実践報告

② 小・中・高等学校等の福祉教育活動の支援

① 福祉教育のコーディネート

学校における福祉教育活動に、大牟田市視力障害者福祉協会、大牟田聴覚障害者福祉協会、大牟田手話の会「ありあけ」の協力を得て、講師（ゲストティーチャー）を派遣した。また、点字指導では、点訳奉仕大牟田むつき会の協力を得た。

派遣件数	H26 年度	H27 年度	H28 年度
合計件数	24 件	18 件	25 件
前年度比	126%	75%	139%
内) 小学校	23 件	18 件	25 件
内) 中学校	1 件	0 件	0 件
内) 高校	0 件	0 件	0 件

② 福祉教材の貸出

福祉への関心や理解を高める教育活動において活用できる福祉教材（高齢者疑似体験セット、車いす、白杖、アイマスク、DVD等）を貸出した。

貸出件数	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
合計件数	18 件	24 件	26 件	15 件	30 件
前年度比	-	133%	108%	58%	200%
内) 小学校	10 件	11 件	13 件	10 件	14 件
内) 中学校	4 件	8 件	8 件	2 件	9 件
内) 高校	0 件	2 件	0 件	1 件	0 件
内) 病院等	4 件	3 件	5 件	2 件	7 件

③ 社会的包摶にむけた福祉教育の実践

社会的孤立や排除が要因となった福祉課題・生活課題が深刻化してきており、こうした視点を盛り込んだ「社会的包摶にむけた福祉教育」の実践が求められている。本年度は、この「社会的包摶」をキーワードに、重点施策「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり」とは具体的にどのようなことなのかを、知り・考える教育プログラムを実践することができた。

実施月日	平成 28 年 8 月 30 日
実施場所	芦屋町立芦屋小学校
実施内容	教員研修：芦屋町福祉教育セミナー「わたしが好きなまち～福祉教育教材『ともに生きる』活用模擬体験と意見交換」
講師	社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会 職員
参加人数	小学校教員 14 名

実施月日	平成 29 年 1 月 27 日
実施場所	大牟田市立宅峰中学校
実施内容	総合学習：学びの旅「学びの旅を終える私と学びの旅を始める私へ」～「困りごと」を通じてみんながつながる
講師	社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会 職員
参加人数	中学校 1 年生 144 名

(2) ボランティアセンター機能充実事業

① ボランティア活動情報の収集・提供

福祉やボランティアに関する情報を収集し、広報誌や WEB サイトなどで、情報を提供した。

また、ボランティアを必要とする人とボランティアをしたい人をつなぐために、ボランティアセンター登録団体名簿 200 冊を作成し、提供した。

② ボランティア活動の相談・調整

① ボランティア活動のコーディネート

ボランティアをしたい人やボランティアを必要とする人からの相談を受け、53 件のボランティア活動をコーディネートした。

コーディネートにあたっては、ボランティアを通じて「困ったときはお互いさま」という双方向の関係性を実感できるようにすること、共生社会の担い手として主体的に社会参加をしていくようになることを意識した。

② ボランティアコーディネーション力の強化

社協ボランティアセンターは、地域に開かれた相談窓口の一つとして、相談、ニーズ調査等を通して、地域ニーズと個別ニーズを把握し、その課題解決に向けて先駆的な方策を展開することが求められていることから、活動へのきめ細やかな支援やそれに関わるボランティアコーディネーターの人材育成が課題であった。そこで本年度は、職員のボランティアコーディネーション力の強化に取り組んだ。

実施月日	主な内容
平成 28 年 6 月 25 日	日本ボランティアコーディネーション力 3 級検定研修 受講・3 級検定受験（受験 2 名のうち合格 2 名）
平成 28 年 10 月 29 日 10月30日	日本ボランティアコーディネーション力 2 級検定研修 受講・2 級検定受験（受験 1 名のうち合格 1 名）

③ おもちゃの図書館「くるりん」の支援

障がいのある子もない子も共に、様々なおもちゃで楽しく遊ぶことを通し、心豊かに育ちあう場である「おもちゃの図書館」で、子ども達にたくさんのおもちゃを用意し、気に入ったおもちゃを選んで遊ぶ機会を提供しているボランティア活動と、保護者が交流する場「ママのホットタイム」を支援した。専門職が参加することによって、参加者の気持ちに寄り添い安心感を醸成することができた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
A	中止	7	3	7	3	4	5	8	5	12	7	7	68
B	中止	4	3	4	2	4	4	6	4	6	5	10	52
C	中止	0	4	5	6	6	6	7	7	4	7	7	59

A : 子どもの参加人数、B : 保護者の参加人数、C : ボランティアの参加人数 ※4 月は地震のため中止

④ 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間イベントの支援

世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間に、大牟田市自閉症児者親の会が取り組んだイベントを支援した。

実施月日	平成29年3月29日
実施場所	総合福祉センター1階 多目的ルーム
実施内容	自閉症を知るためのおはなし会 「自閉っ子からこんにちは」

実施期間	平成29年3月29日～4月8日
実施場所	総合福祉センター1階 エレベーターホール
実施内容	「癒やし」や「希望」などを表す青色でライトアップする「ライト・イット・アップ・ブルー」



ライトアップの様子

③ テーマ型ボランティア講座の実施

本年度は、「サロン活動における男性の参加者が少ない」との課題に対する方策として、「IT（タブレット活用）」「コミュニケーション麻雀」ボランティア講座を実施した。この講座により、サロンにおける男性参加者の増加につながった。

ITボランティア講座	
実施月日	平成28年11月22日、平成28年11月29日（全2回）
実施場所	総合福祉センター2階 大会議室
実施内容	第1回：災害時に役立つアプリとゲームアプリの紹介・体験 第2回：自己紹介映像の作成体験
講師	T-pa副代表 水田貴章さん、タブレッツ代表 後藤國彦さん
参加人数	16名



ITボランティア講座の様子



コミュニケーション麻雀ボランティア講座の様子

コミュニケーション麻雀ボランティア講座	
実施月日	平成28年12月6日
実施場所	総合福祉センター2階 大会議室
実施内容	コミュニケーション麻雀の体験、対象別の実践ポイント
講師	あそびの工房 もくもく屋 事務局長 田川雅規さん
参加人数	14名

コミュニケーション麻雀ボランティアの
サロン訪問実績（H28 年 12 月開始）

訪問件数	H28 年度
コーディネート	7 件

※ コミュニケーション麻雀とは 2 人 1 組ないし 3 人 1 組、合計 8~12 名で相談しながら楽しめます。チームで進めるので自然とおしゃべりが。使用する牌の大きさはタワーシサイズ、だから卓も大きいのです。



ボランティアによるサロン訪問の様子

④ 登録ボランティアグループ等への支援

ボランティア活動への参加を促進するために、ボランティアグループの結成・運営などに関する相談や、活動に必要な器材の貸出、各種助成金申請等を支援した。

① ボランティアの登録

登録数	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
グループ	51 団体	61 団体	54 団体	46 団体	44 団体
前年度比	-	120%	89%	85%	96%
個人	29 名	24 名	13 名	17 名	34 名
前年度比	-	83%	54%	131%	200%

② タブレットDE楽しみ隊（タブレツ）の活動

タブレツは、平成 24 年度に「タブレットDE地域デビュー～人生に彩りを」をテーマに開催した講座の受講生が結成したグループ。

昨年度に引き続き、本年度もサロンを中心とした活動をコーディネートした。



タブレツによる講座の様子

⑤ 保険加入の支援

① ボランティア活動保険の情報提供・加入受付

平成 28 年熊本地震に伴う被災地でのボランティア活動にあたって、天災タイプのボランティア活動保険への加入者が増加した。

加入件数	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
受付	1,289 名	1,018 名	1,063 名	1,073 名	1,736 名
前年度比	-	79%	104%	101%	162%

② ボランティア行事保険の加入受付 193 件 (9,262 名)

③ ふれあいサロン・社協行事保険の加入受付 56 件 (9,699 名)

【基本目標 2】みんなで支え合う地域づくり 人と人とのつながりを深め 地域の支え合い活動を推進します。

(1) 小地域ネットワーク活動推進事業

経済的困窮、社会的孤立、ひきこもり、虐待、権利侵害等の福祉課題・生活課題が、地域で早期に発見され、地域を基盤にした解決が可能な支援ネットワークが拡充されている状態となることをめざして、以下に取り組んだ。

① 福祉委員の改選・委嘱

小地域ネットワーク活動の推進などを任務とする福祉委員（第 6 期：平成 28 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）を委嘱し、概ね 100～150 世帯に 1 人の割合で配置した。

① 福祉委員の配置

配置数	第 4 期	第 5 期	第 6 期
福祉委員配置数	366 名	367 名	362 名
充足率	98%	98%	97%

② 新任福祉委員研修の実施

実施月日	A 日程：平成 28 年 7 月 7 日、B 日程：平成 28 年 7 月 8 日 C 日程：平成 28 年 7 月 9 日、D 日程：平成 28 年 7 月 11 日 E 日程：平成 28 年 7 月 12 日
実施場所	総合福祉センター 2 階 大会議室
実施内容	福祉委員制度の概要説明 各校区の福祉委員活動の実践紹介
実践紹介	A：塙塚國凱さん（大正校区）、井尻美津子さん（大牟田校区） B：吉田和明さん（高取校区） C：林光枝さん（みなと校区）、木田秀樹さん（駿馬北校区） D：田尻竹久さん（吉野校区）、森橋ゆり子さん（手鏡校区） E：西山秀子さん（上内校区）
参加人数	新任福祉委員 70 名

② 福祉委員研修の実施

本会が校区社協と連携して取り組む課題のうち、福祉委員との連携・協働が必要な内容である「地域支え合いマップ」に関する研修を実施した。参加者からは、「地域支え合いマップを作成することで地域での活動者間で情報共有ができると感じた」「ご近所のつながりが見えると、いろいろな支援ができると感じた」との感想が寄せられた。



福祉委員研修会の様子

「ご近所発の地域福祉～支え合いマップを生かして」

実施月日	平成 28 年 8 月 25 日
実施場所	総合福祉センター 2 階 大会議室
実施内容	(1) 地域支え合いマップとは (2) なぜ今地域支え合いマップを作る必要があるのか (3) 住民同士の助け合い・支え合いについて
講師	住民流福祉総合研究所 所長 木原孝久さん
参加人数	校区社会福祉協議会構成員 101 名

③ 地域の生活課題学習会の開催

生活困窮者自立支援制度が始まったことにより、地域の関係者から社会的孤立状態の方々に対し「自分たちが何をすればよいか分からない」との声を受けた。

地域に潜在する見守り等の必要な方への働きかけが可能となるよう、関連する課題に関する学習会を開催した。

参加者からは「不登校やひきこもりに悩んでいる本人だけでなく家族も支えていかなければならないと感じた」や「不登校・ひきこもりの問題は他人事と思っていたが、自分たちの地域の問題であると感じた」との感想が寄せられた。

一見すると働きかけが困難だと思われる方へのアプローチ方法や地域で支えることの大切さの理解につなげることができた。



生活課題学習会の様子

「不登校・ひきこもりで悩む子どもたちへ ~今、私たちができるることを考える」

実施月日	平成 29 年 3 月 23 日
実施場所	総合福祉センター 2 階 大会議室
実施内容	(1) 当事者や家族の抱える悩みについて学ぶ (2) 地域で支援者ができることを学ぶ
講師	特定非営利活動法人 子ども NPO センター 事務局長 長阿彌幹生さん
参加人数	校区社会福祉協議会構成員 80 名

④ 校区福祉座談会等の支援

支援を必要とする高齢者や障がい者等が地域で孤立しないよう、校区社協が主体となって取り組む小地域ネットワーク活動等に関する研修会やニーズキャッチのための福祉座談会等の講師を務めるなどの支援を行った。このことにより、地域支え合いマップづくりが推進され、本年度は校区福祉座談会等に約 400 名が参加した。



みなど校区合同研修会の様子

実施月日	実施内容	人数
平成 28 年 5 月 14 日	平原校区福祉委員会議 「福祉委員制度について」	15 名
平成 28 年 5 月 20 日	手鎌校区社協役員研修会 「小地域ネットワーク活動と支え合いマップ」	11 名
平成 28 年 6 月 12 日	平原校区まち協福祉部会定例会 「益城町災害ボラセン運営支援報告」	32 名
平成 28 年 6 月 20 日	天の原校区社協連絡委員会 「小地域ネットワーク活動と支え合いマップ」	41 名
平成 28 年 7 月 2 日	手鎌校区合同研修会 「小地域ネットワーク活動と支え合いマップ」	63 名
平成 28 年 7 月 17 日	平原校区福祉委員会議 「福祉委員活動について」	16 名
平成 28 年 7 月 24 日	玉川校区ボランティア交流会 「防災について～熊本地震ボランティアで学んだこと」	32 名
平成 28 年 8 月 4 日	銀水校区久福木ネットワーク担当者会議 意見交換会	11 名
平成 28 年 8 月 24 日	三池校区福祉座談会 「福祉委員活動について」	23 名
平成 28 年 9 月 2 日	玉川校区福祉座談会 「小地域ネットワーク活動と支え合いマップ」	24 名
平成 28 年 9 月 29 日	駒馬北校区福祉座談会 「生活困窮者支援について」	18 名
平成 28 年 11 月 20 日	みなと校区合同研修会 「小地域ネットワーク活動と支え合いマップ」	38 名
平成 28 年 12 月 16 日	平原校区まち協福祉部会 「小地域ネットワーク活動と支え合いマップ」	25 名
平成 28 年 12 月 24 日	上官校区社協運営委員会 「小地域ネットワーク活動と支え合いマップ」	11 名
平成 29 年 2 月 17 日	平原校区まち協福祉部会 「福津市視察研修（支え合いマップづくり）について」	30 名
平成 29 年 2 月 23 日	玉川校区合同研修会 「生活支援相談室について」	22 名



駒馬北校区福祉座談会の様子



手鎌校区合同研修会の様子

(2) 地域組織活動促進事業

① 校区社会福祉協議会との連携・協働

① 地域住民主体の課題解決の促進

住民が、地域の課題を共有し、地域の困りごとを地域の中で解決することができるよう、各校区社会福祉協議会と連携し、6 校区において、地域支え合いマップに関する研修会や地域支え合いマップづくりを実施した。民生委員や福祉委員と、小地域単位でのマップづくりに取り組んだことで、地域の困りごとを地域の中で解決しようとする雰囲気が生まれ、実際に気になっている住民の訪問や見守りにつなげることができた。



地域支え合いマップづくり

校区名	実施内容	実施月日
天の原	地域支え合いマップに関する研修会	平成 28 年 6 月 20 日
	地域支え合いマップづくり	通年
手錬	小地域ネットワーク活動と支え合いマップ	平成 28 年 5 月 20 日
	地域支え合いマップに関する研修会	平成 28 年 7 月 2 日
	地域支え合いマップづくり	平成 29 年 2 月 18 日
玉川	地域支え合いマップに関する研修会	平成 28 年 9 月 2 日
みなと	地域支え合いマップに関する研修会	平成 28 年 11 月 20 日
平原	地域支え合いマップに関する研修会	平成 28 年 12 月 16 日
	地域支え合いマップづくり	平成 29 年 1 月 24 日
	地域支え合いマップに関する先進地視察	平成 29 年 2 月 21 日
上官	地域支え合いマップに関する研修会	平成 28 年 12 月 24 日

② 「子ども食堂プロジェクト」による新たな試み

大牟田中央校区、大正校区、高取校区、吉野校区の4カ所で、企業・個人等からの寄付受付、企業との協働促進等、子ども食堂立ち上げ支援を行った。また、子ども食堂のあり方や始めるときのポイントなど、子ども食堂の取り組みを紹介するパンフレットを作成し、大牟田市における子ども食堂の理念「みんなで わいわいがやがや 食べることが“ごちそう”」を地域住民と共有することに努めた。

校区名	名称	開催時間・場所
大牟田中央	大牟田中央校区子ども食堂	毎月第 2 土曜日 11:00~13:00 地域交流センター ちくまち
大正	大正校区子ども食堂	毎月第 2 土曜日 11:00~13:00 大正校区コミュニティセンター
高取	高取ふれあい子ども食堂	毎月第 3 土曜日 11:00~13:00 米の山ふれあいセンター
吉野	吉野ふれあい食堂	毎月第 3 日曜日 11:30~13:00 吉野地区公民館

子ども食堂プロジェクト

～みんなで わいわいがやがや 食べることが “ごちそう”～

平成28年2月に“子ども食堂プロジェクト”を発足し、大牟田中央校区に「モデル事業 子ども食堂プロジェクト」をスタートして、多くのことを学び、多くのことを学ばせていただいた。

家族形態の変化（少子高齢化、核家族化、離婚率の増加、シングルマザーの増加）や労働環境の変化（共働き世帯の増加、女性の社会進出、早朝・夜間勤務などの業務形態の多様化等）などにより、以前のように家族が一同に食卓を会することが少なくなってきており、家庭の事情により、孤食の子どもたちが増加している。また育児放棄、監護放棄といったネグレクトも増加傾向にある。

「貧困」という定義を、経済的なものだけではなく、広義に解釈して、改めて「子ども食堂」というステージにおいて、家族力が低下する中、食を通じて、地域力でカバーできるような仕組みを創造していくかなければならないとプロジェクトで確認したところである。

モデル事業を通じて、「子ども食堂」のあり方について、市内各地で、ふれあいサロン活動をされている皆さん、自分たちの食事プラスアルファで、無理なく5～10食程度作っていただき、近所の子ども達が、サロン活動している拠点へご飯を食べに来て、そこで、子どもや高齢者等の多世代が交流するといったイメージを持っており、食を通じた世代間交流（みんなでわいわい食べる＝ご馳走）こそが、本会が描く「子ども食堂」の第一歩だと考えている。

そこから、「つながり」が生まれてきて、子どもだけでなく、子育て中の親や一人暮らし高齢者が共に、様々な喜び、悲しみ、苦しみや悩みを、地域のみんなで共有できるような温かい空間になって欲しいと切望する。そのために、地域における「子ども食堂」の運営に要する財源確保策を講じていかなければならない。「子ども食堂」の規模や形態は、問わない。ただ一つでは小さな灯でも、市内に少しずつ広がっていくことで大きな灯として、輝き続けることに、大いに意味があると考えている。

平成29年3月末現在、「子ども食堂（地域食堂）」は、4校区が実施しており、市内に広がりを見せている。



大牟田中央校区子ども食堂



大正校区子ども食堂



高取ふれあい子ども食堂



吉野ふれあい食堂

② 校区社会福祉協議会会長連絡協議会活動の支援

校区社会福祉協議会会長連絡協議会（以下、「校区社協会長会」という。）が主体となって取り組む地域福祉活動を事務局として支援した。

本年度は、会長会が重点項目として、「小地域ネットワーク活動の充実に向けた取り組み～市社協との連携による地域支えあいマップ作成」を掲げていたことから、各種研修、地域福祉大会、地域リーダー合同研修会などで協働したことによって、地域住民主体の課題解決を促進することができた。

① 役員会・会長会開催の支援

開催月日		主な内容
平成 28 年 4 月 5 日	監査	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度校区社会福祉協議会会長連絡協議会会計について
平成 28 年 4 月 11 日	第1回 会長会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度校区社協会長連絡協議会事業報告及び収支決算について 平成 28 年度校区社協会長連絡協議会事業計画及び収支予算（案）について
平成 28 年 5 月 23 日	第2回 役員会	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選について 平成 28 年度新任福祉委員研修会について
平成 28 年 6 月 13 日	第2回 会長会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度地域支え合いマップ研修会について
平成 28 年 7 月 25 日	第3回 役員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度校区社会福祉協議会会长連絡協議会研修会について
平成 28 年 8 月 8 日	第3回 会長会	<ul style="list-style-type: none"> 大牟田市社会福祉協議会会长表彰（地域活動実践者）の候補者の推薦について
平成 28 年 9 月 26 日	第4回 役員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度優良校区社協の推薦について 平成 28 年度校区社会福祉協議会会长連絡協議会視察研修会について
平成 28 年 10 月 11 日	第4回 会長会	<ul style="list-style-type: none"> 天の原校区版キャロットサービスの取組み
平成 28 年 11 月 28 日	第5回 役員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度校区社会福祉協議会会长連絡協議会事業の総括について
平成 28 年 12 月 12 日	第5回 会長会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度地域歳末たすけあい募金助成事業について
平成 29 年 1 月 23 日	第6回 役員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度校区社会福祉協議会会长連絡協議会事業計画（案）について
平成 29 年 2 月 13 日	第6回 会長会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度地域歳末たすけあい募金助成事業について
平成 29 年 3 月 27 日	第7回 役員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度校区社協会長連絡協議会事業計画及び収支予算（案）について

② 研修部会との協働による研修の企画・実施

校区社協会長研修会と地域リーダー合同研修会の内容について、校区社協会長会研修部会と協議し、協力して実施した。

実施月日	主な内容
平成 28 年 6 月 13 日	平成 28 年度校区社協会長会研修企画案について
平成 28 年 8 月 8 日	平成 28 年度地域リーダー合同研修企画案について
平成 28 年 9 月 8 日	
平成 28 年 9 月 26 日	平成 28 年度校区社協会長会視察研修案について

地域支え合いマップづくりを推進するために、校区社協会長会と協力して研修を実施した。このことによって、地域支え合いマップの必要性や作成等に関して校区社協構成員や福祉関係者が共通理解を図ることができた。

「ご近所発の地域福祉～支え合いマップを生かして」

実施月日 平成 28 年 8 月 25 日 ※ 別掲 P8 を参照

校区社協会長連絡協議会視察研修会	
実施月日	平成 28 年 12 月 8 日
視察場所	社会福祉法人鞍手町社会福祉協議会
実施内容	「地域支え合いマップの取り組みから見えたこと」
講師	社会福祉法人鞍手町社会福祉協議会 池本賢一さん
参加人数	校区社会福祉協議会会長 18 名



視察研修会の様子

平成 28 年度 地域リーダー合同研修会

実施月日 平成 29 年 3 月 3 日 ※ 別掲 P15 を参照

- ③ 広報部会との協働による校区社協が取り組む地域福祉活動に関する情報発信**
福祉だより「きらり」を活用して校区社協会長会だより「つながり」の発行を支援した。(各号の発行部数 : 55,000 部)

発行月日	主な内容
福祉だより「きらり」86号 (4月15日発行)	校区社協会長の紹介
福祉だより「きらり」87号 (7月15日発行)	新任校区社協会長及び新任役員体制の紹介
福祉だより「きらり」88号 (10月1日発行)	赤い羽根共同募金を活用した取り組みの紹介
福祉だより「きらり」89号 (1月15日発行)	大正校区子ども食堂の紹介

- ③ 第 8 回大牟田市地域福祉大会～地域支え合い “絆” セミナー～の開催
市民一人ひとりが自ら住んでいる地域に積極的に関わり、地域住民の「支えあいの“絆”」を創造することを目的に開催した。

実施月日	平成 29 年 2 月 12 日
実施場所	大牟田文化会館 小ホール
実施内容	<p>[第 1 部] 地域福祉の向上に貢献され、他の模範となる個人又は団体に対する表彰状の授与を行うことでその功績を称えた。</p> <p>■大牟田市社会福祉協議会 功労者表彰 (表彰の部)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 校区社協実践活動者 (30 名) □ 優良校区社協 (天の原校区) □ ボランティア活動者・団体 (1 団体・1 名) □ 特別功労者表彰 (1 名) <p>(感謝の部)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 校区社協実践活動者 (51 名) □ ボランティア活動者・団体 (4 団体・4 名) □ 善意銀行高額寄付者・団体 (2 団体・6 名) □ 地域活動実践者・団体 (1 団体・2 名) <p>■共同募金高額寄付者・団体表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 中央共同募金会・共同募金運動 70 周年記念県知事特別表彰団体 (1 団体) □ 優良地区受賞校区分会 (2 団体) □ 赤い羽根高額寄付者・団体 (16 団体・2 名) □ 歳末高額寄付団体 (4 団体) <p>[第 2 部]基調講演「子どもにとって豊かさとは？」 ～豊かさの視点から見た大牟田の子どもの現状～」 講師：社会福祉法人甘木山学園 支援部長・大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会 運営委員長 坂口明夫さん</p> <p>[第 3 部]シンポジウム「子どもにとって豊かさとは？」 ～豊かさの視点から見た地域の取り組み～」</p> <p>実践発表者</p> <ul style="list-style-type: none"> ▫ 食を通じた多世代の居場所～子ども食堂～ 大牟田中央校区まちづくり協議会 副会長 安元洋子さん ▫ 大正校区社会福祉協議会 会長 塩塚國凱さん ▫ 子どもと校区の福祉活動～子ども民生委員～ 中友校区社会福祉協議会 会長 吉田勢津子さん ▫ 子育て中の母親の居場所～子育てサロン～ 「みんなで遊ぼう！みなと広場」代表 西本サチ子さん <p>コーディネーター：坂口明夫さん</p>
参加人数	市民 500 名



第 1 部 功労者表彰の様子



第 3 部 実践発表の様子

④ 地域リーダー合同研修会の開催

校区の福祉力を明らかにすることを目的として、昨年度、校区社協会長会と協力して実施した「校区福祉力アンケート」では、市内全体での地域活動における課題は「地域内のネットワーク」であることが明らかになった。

また、平成 28 年 1 月の断水や 4 月の熊本・大分地震は、あらためて地域のつながりや情報共有のあり方を見つめ直す機会となった。

このような中、本年度は、校区社協会長会と連携・協働し、「地域支え合いマップ」に関する研修等を開催した。

そこで、これらの実践やその過程で浮びあがってきた課題などを、各校区社協、民児協、まち協・連協の会長をはじめ関係者が共有することを通して、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまち」をめざして、地域の人と人とのつながりを大切にし、社会的孤立を解消する仕組みをつくることを目的に合同研修会を実施した。



平成28年度 地域リーダー合同研修会 「人と人とのつながりを大切に～助け合いのまちづくり」

実施月日	平成 29 年 3 月 3 日
実施場所	大牟田ハイツ 2 階 芙蓉の間
実施内容	① 導入：「地域支え合いマップってどんなもの？」 大牟田市社会福祉協議会 職員
講師	② 趣旨説明：「地域支え合いマップの活用とは？」 大牟田市社会福祉協議会 職員
報告者	③ 実践報告：「地域支え合いマップづくりによってわかったこと」 福津市社会福祉協議会 地域福祉係 永田貴大さん
	④ 実践報告：「支え合いマップの取組みについて」 手錠校区社会福祉協議会 会長 猿渡英昭さん 天の原校区社会福祉協議会 会長 三浦紀子さん 平原校区社会福祉協議会 会長 高口悦子さん
	⑤ 意見交換：「校区で地域支え合いマップは必要？必要ではない？」 大牟田市社会福祉協議会 職員
参加人数	校区社協会長、校区民児協会長、校区まち協会長、校区町内公民館連協会長、地域福祉推進室、地域コミュニティ推進課、長寿社会推進課、第 2 層生活支援コーディネーター 等 89 名

(3) ふれあいサロン活動支援事業

① レクリエーション用具の貸出

サロン連絡会において、用具の体験と用具一覧表の配布を行い、サロンで活用してもらうため、14種類のレクリエーション用具の貸出を行った。

貸出件数	H27 年度	H28 年度
サロン貸出件数	20 件	52 件
前年度比	-	260%



② サロン連絡会の開催

活動の活性化のために、情報の共有や実践の紹介、サロン間の連携を目的として連絡会を開催した。アンケートによると、内容に関して、90%以上が「とてもためになった」「ためになった」と回答していることから、「サロン運営におけるヒントを得る」という目的を達成することができたと言える。活動に対する意欲の高まりに関しても、90%以上が「大変高まった」「やや高まった」と回答している。これらのことから、連絡会への参加によって活動への意欲が高まった。



実施月日	平成 28 年 10 月 31 日 137 サロンを 3 回に分けて実施 A) 10:30~12:00 B) 13:00~14:30 C) 15:30~17:00
実施場所	イオンモール大牟田 イオンホール
実施内容	体験「サロンで楽しむレクリエーション」
講師	大牟田レクリエーション協会
参加人数	登録サロンの代表者・世話人・校区社協会長 等 205 名

実施月日	平成 29 年 3 月 9 日 137 サロンを 2 回に分けて実施 A) 10:30~12:00 B) 13:30~15:00
実施場所	イオンモール大牟田 イオンホール
実施内容	意見交換「あなたの地域のサロン活動で自慢できることは何ですか？」
講師	日本ファシリテーション協会 加留部貴行さん
参加人数	登録サロンの代表者・世話人・校区社協会長 等 126 名

③ サロン活動助成金の交付

地域の憩いの場であるサロンは、ご近所の人達が「みんなで集まりおしゃべりをする場」であり、構えずに気軽に始める“仲間づくり”“生きがいづくり”の活動という要件を満たした登録サロンに助成金を交付した。また、サロンを新たに立ち上げる際に支援を行った。

対象区分	高齢者	障がい者	子ども	計
H28 年度	129 カ所	2 カ所	6 カ所	137 カ所
前年度比	108%	100%	100%	106%

(4) 住民参加型福祉サービス提供体制充実事業

① おおむたキャロットサービス会員の登録・活動の調整

日常生活において、公的サービスでは対応できない生活課題を抱えている一人暮らし高齢者等に対し、サポーター登録した協力会員が生活支援サービスを行った。年々活動件数は増え続け、一人暮らし高齢者等の在宅生活支援ニーズは大きく伸びている。利用会員は増える一方で協力会員は、新規登録者・退会者を相殺すると、登録者数は変わらなかった。今後、増え続ける依頼に対応できるよう、協力会員を増やしていくかなければならない。

① 会員の登録

区分	H27 年度 登録者数	H28 年度登録者数			前年度比	
		新規登録者数	退会者数	計		
利用会員	130 名	62 名	49 名	143 名	13 名増	110%
協力会員	35 名	8 名	8 名	35 名	増減なし	100%
合計	165 名	70 名	57 名	178 名	13 名増	108%

② 活動の調整

活動件数	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
件数	1,448 件	1,709 件	1,741 件	2,184 件	2,293 件
前年度比	-	118%	102%	125%	105%

③ 活動の種類

家事支援		買物	薬受取	通院外出付添	見守り	話し相手	草とり	ゴミ出し	その他		
掃除洗濯	食事作り								修繕など	その他	産前産後
1,791	57	120	6	85	0	9	118	0	20	82	5

② 協力会員の養成講座・研修の実施

① 協力会員交流会の実施

協力会員同士の親睦・連携を深め、活動の充実を図ることを目的として実施した。また、同じ市民サポーターとして活動している日常生活自立支援事業の生活支援員と交流することで、サポート活動に対する思いを共有した。加えて、将来のビジョン等や災害に対する心構えなどの情報を共有することによって、活動に対する意欲の向上を図った。



交流会でのグループワーク活動

実施月日	第 1 回：平成 28 年 5 月 16 日、第 2 回：平成 29 年 3 月 16 日
実施場所	総合福祉センター 2 階 大会議室
実施内容	第 1 回：活動報告、意見交換 第 2 回：情報共有「市社協ビジョン 2025」、グループワーク「活動で大切にしていること」、講義「災害に対する日ごろの備え」
講師	第 2 回：特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 事務局長 李仁鉄さん
参加人数	第 1 回：協力会員 14 名、第 2 回：協力会員 12 名

② おおむたキャロットサービス協力会員視察研修の実施

市外で同様の活動をしている団体と意見交換をすることで、活動への思いや悩みを共有し、今後の活動の充実を図ることを目的として実施した。日田ハートクラブの協力会員の方々との意見交換を通して、協力会員同士の横のつながりの大切さに改めて気づく機会となった。

実施月日	平成 29 年 2 月 22 日
実施場所	日田ハートクラブ（日田市社会福祉協議会）
実施内容	日田ハートクラブの取組紹介、会員同士の意見交換
参加人数	協力会員 7 名

③ おおむたキャロットサービス協力会員養成講座の実施

キャロットサービスへの依頼増加に対応するために、協力会員の養成に取り組んだ。今年度は、キャロットサービス協力会員だけでなく、同じボランティア精神に支えられた日常生活自立支援事業の生活支援員とファミリー・サポート・センターの協力会員の養成を「市民サポーター養成講座」として行った。

そのため内容としては、基礎講座・実践講座の 2 種類を設定し、市民サポーター希望者は全員基礎講座を受講した上で実践講座を選択して、希望する市民サポーターとして活動していただくことを目指した。

キャロットサービス協力会員としては 5 名の登録があったが、他のサポーターへの登録もあった。今後も講座の内容やあり方等を検討しながら、市民の方々が興味を持ち、参加しやすい講座を実施していくこととした。

市民サポーター養成講座（基礎講座）

実施月日	実施内容	人数
平成 28 年 10 月 28 日	第 1 回「ボランティアについて」 講師：筑紫文学園大学 社会福祉コース 教授 山崎安則さん	19 名
平成 28 年 11 月 2 日	第 2 回「各事業紹介・実践報告」 講師：各事業サポーター、大牟田市社会福祉協議会職員	16 名

市民サポーター養成講座（実践講座）

実施月日	実施内容	人数
平成 28 年 11 月 4 日	第 1 回「子どもについて」 講師：くぬぎ保育所主任保育士	15 名
平成 28 年 11 月 9 日	第 2 回「上手なコミュニケーション：傾聴を学ぶ」 講師：再評価カウンセリング 九州エリア代表 宮崎由紀子さん	15 名
平成 28 年 11 月 11 日	第 3 回「高齢者・障がい者について」 講師：大牟田市社会福祉協議会職員	15 名
平成 28 年 11 月 16 日	第 4 回「片付けでボランティア力アップ」 講師：整理収納アドバイザー 富永由美さん	16 名
平成 28 年 11 月 18 日	第 5 回「幼児安全法（子どものケガと病気の手当）」 講師：日本赤十字社福岡県支部 坂本峰子さん	15 名
平成 29 年 2 月 17 日	第 6 回「子どもの心と体の発達について」 講師：誠修高校 多田隈清美さん	10 名

(5) 災害ボランティア活動環境整備事業

災害発生時に円滑な災害ボランティアセンターの設置・運営ができるよう、「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの作成」「災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施」を予定していたが、平成 28 年 4 月 14 日・16 日に、熊本県を中心に大規模な地震が発生したため、本年度は、主に熊本地震に伴う支援活動等に取り組んだ。

① 熊本地震に伴う支援活動への職員派遣等

① 益城町災害ボランティアセンター運営支援

九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、熊本県内の被災地市町村社協支援のため、福岡県社会福祉協議会が応援要請に応え、市町村社会福祉協議会の協力を得ながら職員を派遣した。

福岡県社協が、市町村社協に職員の派遣意向調査を実施し、支援経験等を踏まえ 1 クール（5 日間 ※一部変則日程有）4～5 名体制で派遣し、本会からの派遣は以下のとおり。



第 13 クール派遣チーム

【派遣者名簿登載】

クール	派遣期間	内容
第 3 クール～第 29 クール	4 月 28 日～8 月 29 日	派遣可能を表明

【派遣実績】

クール	派遣期間	人数	派遣先
第 13	平成 28 年 6 月 7 日～6 月 11 日	1 名	益城町災害ボランティアセンター
第 18	平成 28 年 6 月 27 日～7 月 1 日	1 名	益城町災害ボランティアセンター
第 26	平成 28 年 7 月 29 日～8 月 1 日	1 名	益城町災害ボランティアセンター

② 救援物資の仕分け作業

派遣期間	派遣場所	人数
平成 28 年 4 月 21 日～4 月 24 日	旧船津中学校 体育館	11 名

③ 救援物資の整理ならびに炊き出し

派遣期間	派遣場所	人数
平成 28 年 5 月 21 日	NPO 法人にしほら たんぽぽハウス	4 名

④ 被災者受入住宅の清掃作業

派遣期間	派遣場所	人数
平成 28 年 4 月 27 日	三池校区内の市営住宅	1 名

⑤ ボランティア活動への参加

派遣期間	派遣場所	人数
平成 28 年 6 月 12 日	被災地障害者センターくまもと	3 名
平成 28 年 6 月 12 日	西原村災害ボランティアセンター	12 名
平成 28 年 7 月 10 日	益城町	1 名
平成 28 年 7 月 17 日	益城町	2 名

② 熊本地震の被災者への支援

生活福祉資金貸付（福祉資金「緊急小口資金」）	4件
平成28年熊本地震により災害救助法の適用となった地域から避難した者のうち、今後、福岡県に1ヶ月以上居住し、継続的に連絡がとれることが見込まれる者（世帯単位）を対象とした貸付の受付を行った。	
居住支援協議会による空き家提供に関する相談	18件
低所得者、高齢者、障がい者、子育て世帯等、住宅を確保することが難しい人（住宅確保要配慮者）が、民間賃貸住宅等へ円滑に入居できるよう推進する組織である居住支援協議会に登録されている空き家に関して、情報を提供した。	
居場所に関する相談	1件
自閉症があるため、安心して遊べるスペースの確保が難しいとの相談に対して、総合福祉センターの多目的ルーム及びおもちゃ等を提供した。	
物資に関する相談	2件
<ul style="list-style-type: none"> ● 中央地区地域包括支援センターからの被災地に届ける飲料水確保の相談に対して、飲料水15ケース（2L×6本入り）を提供した。 ● 市営住宅に入居した方からの家電等の確保が難しいとの相談に対して、家電等を提供した。 	
駐車場に関する相談	1件
岩手県災害派遣福祉チームからの駐車場所確保の相談に対して駐車場を提供した。	
その他	13件
子どもの里親制度の登録、特別支援学校への転校、保育所の入園、住居の確保、物資の搬送や預かり場所、電化製品等の貸出、ボランティアバスの手配等	

③ 熊本地震に伴うボランティア活動の支援

災害ボランティア活動保険加入の受付	
受付開始	平成28年4月15日（特設受付期間：平成28年4月22日～平成28年12月9日）
受付日時	月曜日～土曜日の午前8時30分～午後9時 日曜日の午前8時30分～午後5時まで
受付場所	総合福祉センター1階 特設コーナー
受付人数	637名
 特設受付の様子	
災害ボランティア活動オリエンテーションの実施	
実施内容	災害ボランティア活動保険加入受付時に約15分間のオリエンテーションを実施した。
配布資料	ボランティア活動あんぜんハンドブック、被災地でのボランティア活動を希望されている方々へ、被災地でのボランティア活動に参加したいと考えている“あなた”へ、災害ボランティア活動ガイドブック、高速道路無料通行（災害派遣等従事車両証明書発行）の申請書、ボランティア活動最新情報、平成28年熊本地震義援金募集要綱

災害ボランティア活動 事前セミナーの実施

実施月日	第1回：平成28年4月27日、第2回：平成28年6月6日 *第2回は、大牟田市ボランティア連絡協議会の主催、開催協力をした。
実施場所	総合福祉センター2階 大会議室
実施内容 講師等	<ul style="list-style-type: none"> ● 講話「東日本で教えてもらったこと」 彌永恵理さん（東日本震災復興支援事務所 代表） ● 説明「災害ボランティア活動に行く前に知っておいてほしいこと」 説明「平成28年熊本地震義援金について」 大牟田市社会福祉協議会 職員
参加人数	第1回 22名、第2回 21名

ボランティア等コーディネート

	依頼件数	マッチング件数	関係機関等に関する情報提供件数
	8件	3件	5件
依頼者	ボランティア活動団体、校区社会福祉協議会、民間事業者組合 等		
依頼内容	被災者支援ボランティアの募集、活動受入先とのマッチング 等		

④ 熊本県共同募金会による義援金募集への協力

義援金の受付

受付開始	平成28年4月15日 募集期間：平成28年4月15日～平成30年3月31日
受付場所	総合福祉センター1階 福岡県共同募金会大牟田市支会
受付金額	4,241,424円（平成29年3月31日現在）
受付件数	94件

街頭募金の実施

実施月日	平成28年4月20日 午前7時30分～午前8時30分
実施場所	JR大牟田駅周辺
実施団体	大牟田市、福岡県共同募金会大牟田市支会、大牟田市社会福祉協議会
募金実績	108,112円



⑤ その他

福祉だより「きらり」への特集記事の掲載

掲載号	7月発行 第87号 「益城町災害ボランティアセンター運営支援を通じて」 「熊本地震 災害ボランティアに思う」
	10月発行 第88号 熊本・大分地震 義援金報告
発行部数	55,000部（全戸配布）

熊本地震を経験し、これまで実施してきた災害ボランティアセンター設置・運営訓練だけでは見えてこなかった問題・課題が明らかになった。そこで、以下のことに取り組んだ。

① 災害支援コーディネーターの養成

平成28年度 第1回「災害ボランティアセンター運営者研修」への参加		1名
実施月日	平成28年9月14日～9月15日（2日間）	
実施主体	社会福祉法人全国社会福祉協議会	
実施内容	基調シンポジウム「何のため・誰のための災害ボランティアセンターか～あらためて災害ボランティアセンターを考える」等	

福岡県における災害支援体制を考える研修会への参加		2名
実施月日	平成28年12月5日	
実施主体	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会	
実施内容	報告・グループワーク「熊本地震の災害支援に関する報告」等	

社協ボランティア・市民活動センター担当職員研究セミナーへの参加		2名
実施月日	平成28年12月13日～14日（2日間）	
実施主体	社会福祉法人全国社会福祉協議会	
実施内容	講義・演習「なぜ社協が災害ボランティアセンターを担うのか」等	

災害支援コーディネーター養成研修会への参加		1名
実施月日	平成29年2月16日～2月17日（2日間）	
実施主体	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	
実施内容	「災害ボランティアセンターの基礎、運営者としてのスタンス」等	

福祉避難所に関する研修会への参加		4名
実施月日	平成29年3月17日	
実施主体	大牟田市	
実施内容	「福祉避難所の設置・運営について、要配慮者施設の防災計画」等	

② 災害ボランティアセンターに関する研修会の実施

被災者中心・地元主体の協働型災害ボランティアセンター設置に関する研修会		
実施月日	平成29年3月16日	
実施場所	総合福祉センター 2階 大会議室	
実施内容	講義・グループワーク 「被災者ニーズと求められる支援から考える多様な機関等との連携・協働のあり方とやり方とは？」	
講師	特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 事務局長 李仁鉄さん	
参加人数	31名、16組織（大牟田市防災対策室、大牟田市市民活動サポートセンター、大牟田市居住支援協議会、大牟田市地域包括支援センター（中央、三池、手鏡、吉野、駿馬・勝立）、一般社団法人大牟田青年会議所、特定非営利活動法人大牟田市障害者協議会、大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会、福岡県社会福祉協議会、大牟田市校区社会福祉協議会会长連絡協議会、大牟田市成年後見センター、福岡県共同募金会大牟田市支会、大牟田市社会福祉協議会）	

(6) 地域支え合い推進における第2層生活支援コーディネーターとの連携

誰もが在宅生活を安心して継続できるよう、住民等による生活支援活動や生活支援サービスをより充実させるため、①地域支え合いマップづくり、②地域リーダー合同研修会、③ふれあいサロン連絡会、④協働型災害ボランティアセンター設置研修会の取組みにおいて、地域包括支援センターに配置されている第2層生活支援コーディネーターと連携した。

(7) 共同募金等を活用した支え合い活動の推進事業

昭和22(1947)年に「国民たすけあい運動」として開始された共同募金運動は、今年運動創設70年を迎える。時代の要請に合わせて現在のような多様な地域福祉活動を支える募金へと、その役割を変化させてきたところである。

① 福岡県共同募金会大牟田市支会との連携

① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動

地域福祉推進のための貴重な財源である「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」について、福岡県共同募金会大牟田市支会と連携して取り組んだ。

本年度は、具体的な大牟田での使いみちを表した「ミニチラシ」の配布や地元のラジオ局「FMたんと」でのPRを行うなど使途の透明化を図った。

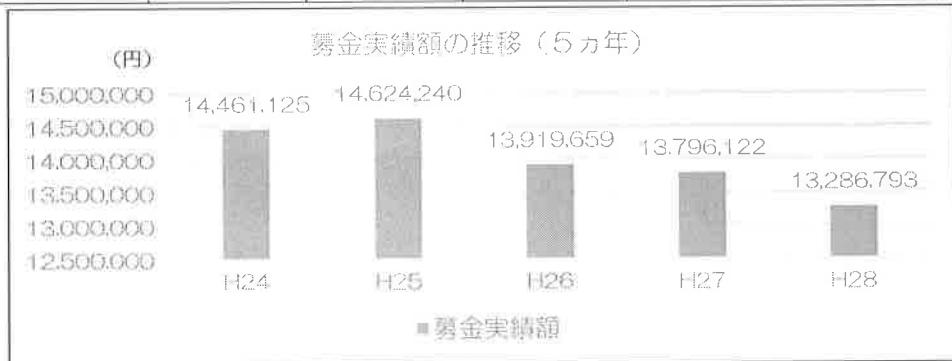


FMたんとでのPRの様子

【赤い羽根共同募金（運動期間：10月1日～12月31日）】

(単位：円)

実績額	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
募金額	14,461,125	14,624,240	13,919,659	13,796,122	13,286,793
前年度比	-	101%	95%	99%	96%



10/1 赤い羽根共同募金運動の様子



12/1 歳末たすけあい募金運動の様子

【歳末たすけあい募金（運動期間：12月1日～12月31日）】(単位：円)

実績額	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
募金額	3,399,353	3,142,692	2,973,426	2,805,614	2,706,306
前年度比	-	92%	95%	94%	97%



② 街頭キャンペーン等広報活動への参加

実施月日	実施場所	参加者
平成28年 10月1日	ゆめタウン イオンモール	大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会長・役職員
平成28年 12月1日	大牟田駅 ゆめタウン イオンモール	大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会長・役職員

FMたんとの広報活動

実施月日	内容
平成28年 9月23日	赤い羽根共同募金運動と使途について
平成28年 11月25日	歳末たすけあい募金運動と使途について

③ 法人募金の実施協力

実績額	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
法人数(社)	363	390	406	406	394
募金額(円)	2,015,016	2,375,400	2,330,021	2,320,956	2,203,006
前年度比	-	118%	98%	99%	95%

④ 寄付つき商品等の販売

寄付つき商品のプロジェクト「募金百貨店おおむた」に、本年度は30の企業・団体の参加があり、募金への協力を頂いた。

実績額	H26年度	H27年度	H28年度
募金額(円)	258,065	318,795	160,366
前年度比	-	123%	50%

⑤ 赤い羽根自動販売機の設置

大牟田市支会の特徴的な取り組みの一つである飲料水の売り上げの一部が寄付される「赤い羽根自販機」を、市内に50台設置している。

実績額	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
設置台数(台)	10	17	50	51	50
募金額(円)	498,567	608,861	922,509	967,393	895,088
前年度比	-	122%	151%	105%	93%

⑥ 街頭募金の実施支援

運動期間中に、様々な団体が市内各所で街頭募金を実施し、周知啓発を行った。

【赤い羽根共同募金（運動期間：10月1日～12月31日）】

実施月日	実施場所	実施団体名
平成 28 年 10 月 1 日	ゆめタウン イオンモール	大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会長・役職員
平成 28 年 10 月 1 日	マミーズ勝立店 ミスター・マックス	天の原校区社協
平成 28 年 10 月 10 日	銀座通り商店街	中友校区民児協
平成 28 年 10 月 14 日	マルショク吉野店他	吉野校区社協
平成 28 年 10 月 15 日	ゆめタウン	大牟田市ボランティア連絡協議会
平成 28 年 10 月 16 日	ゆめタウン	上官校区社協
平成 28 年 10 月 18 日	ゆめタウン	大牟田市ボランティア連絡協議会
平成 28 年 10 月 25 日	ゆめタウン	白川校区社協
平成 28 年 10 月 28 日	文化会館（高齢者いきいき懇親会において）	大牟田市老人クラブ連合会
平成 28 年 11 月 1 日	マルエイ大牟田店	天の原校区社協
平成 28 年 11 月 5 日	ゆめタウン	大牟田手話の会「ありあけ」
平成 28 年 11 月 6 日	マミーズ羽山台店	羽山台校区まちづくり協議会
平成 28 年 11 月 10 日	銀座通り商店街	中友校区民児協・子ども民生委員
平成 28 年 11 月 13 日	ゆめタウン	上官校区社協
平成 28 年 11 月 15 日	ゆめタウン	白川校区社協
平成 28 年 11 月 18 日	JR 大牟田駅 イオンモール	大牟田高等学校
平成 28 年 11 月 21 日	手鎌地区公民館 (文化祭会場において)	手鎌校区社協
平成 28 年 11 月 23 日	ダイレックス歴木店	高取校区社協
平成 28 年 12 月 1 日	マミーズ勝立店 ミスター・マックス	天の原校区社協
平成 28 年 12 月 4 日	ゆめタウン	大牟田市障害者協議会
平成 28 年 12 月 16 日	ゆめタウン	白川校区社協
平成 28 年 12 月 20 日	ゆめタウン	大牟田市社会福祉協議会職員
平成 28 年 12 月 27 日	ゆめタウン マミーズ羽山台店	大牟田市社会福祉協議会職員

【歳末たすけあい募金（運動期間：12月1日～12月31日）】

実施月日	実施場所	実施団体名
平成 28 年 12 月 1 日	JR 大牟田駅・ゆめタウン・イオンモール	大牟田市長、福岡県共同募金会大牟田市支会長・理事、大牟田市社会福祉協議会長・役職員
平成 28 年 12 月 10 日	銀座通り商店街	中友校区民児協
平成 28 年 12 月 11 日	ゆめタウン イオンモール	ボーアスカウト大牟田第3回
平成 28 年 12 月 17 日	JR 大牟田駅 ゆめタウン	明光学園高等学校

② 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金からの助成

各団体からの助成金申請を共同募金配分委員会で審査し、平成 29 年度事業として総額 9,593,700 円の助成先を決定した。

① 福祉教育推進校への助成

(単位:円)

No.	学校名	事業名	助成額
1	倉永小学校	地域との連携・交流を通した福祉教育	100,000
2	玉川小学校	体験からの学び（自然・ひと・もの・ことを大切にする教育）	50,000
3	手鎌小学校	ESD 推進事業（郷土学習中心）	36,000
4	中友小学校	ESD 推進事業（福祉教育・地域学習）	75,000
5	羽山台小学校	高齢者および障害のある人との交流を通した福祉の心を育む教育	45,000
6	駿馬南小学校	地域との連携による福祉の心を育む福祉教育事業	42,500
7	平原小学校	「共に生きる」ことや人とのつながりの大切さを学ぶ福祉教育	35,000
8	吉野小学校	高齢者との交流事業ほか福祉教育	33,000
9	駿馬北小学校	地域高齢者との心れあい活動等福祉教育	47,500
10	橋中学校	総合的な学習の時間と校内環境美化活動	32,500
11	誠修高等学校	ボランティアエステ（ハンドトリートメント）	30,000
12	明光学園中学・高等学校	地域の方々と女子中高生とのスマイル福祉交流活動	108,514
計			635,014

② 福祉団体等への助成

(単位:円)

No.	団体名	事業名	助成額
1	大牟田市身体障害者福祉協会連合会	社会参加促進事業	250,000
2	NPO 法人大牟田市母子寡婦福祉会	母と子の心れあい事業	100,000
3	大牟田市ボランティア連絡協議会	連絡協議会活動推進事業（研修・交流・広報の発行等）	64,000
4	大牟田要約筆記の会のぞみ	難聴者の交流・学習の場づくりと啓発活動	50,000
5	大牟田市老人クラブ連合会	教養事業（各種研修・会報誌の発行等）	155,000
6	大牟田朗読の会	朗読・情報発信などに関する研修会	50,000
7	NPO 法人大牟田市障害者協議会	第 39 回心れあいパラリンピック＆サン・アビマツリ	100,000
8	NPO 法人ともしひ会	精神障害者等の社会参加促進事業	106,320
9	大牟田知的障害者育成会	障がい者施設見学研修	177,480
計			1,052,800

③ 助成金総額

助成金総額	9,593,700 円
福祉教育推進校・福祉団体等助成金額	1,687,814 円
大牟田市社会福祉協議会地域福祉事業費	1,669,886 円
校区社会福祉協議会活動費	6,236,000 円

**【基本目標 3】生活課題の解決に向けた包括的な仕組みづくり
専門機関や住民と連携・協力し生活課題の解決を促進します。**

(1) 生活困窮者自立支援事業(市受託事業)

① 自立相談支援事業

① 相談経路

相談件数は 344 件。生活保護世帯 57 件を加えると、年間 401 件の相談があり、月平均 33 件の相談となる。相談経路は、3 人に 2 人の割合(全体の 61%) で「本人」からの直接相談、次に「家族・親戚・知人」(20.3%)、「専門機関・専門職」(16.9%)、と続いている。昨年度と比較すれば、「家族・親戚・知人」の割合が若干増加している。

② 年代及び相談内容

年代別の割合は、65 歳以上からの相談が約 38% であった。その約半数は「キャロットサービス」利用に関する相談であった。また、30 代から 50 代の相談は、引きこもり、住居確保、就業、生計などであり、関係機関との連携の必要性が高くなっていることが多い。

③ スクリーニング結果(相談内容の仕訳・選別)

スクリーニング結果については、今年度も「専門機関等へのつなぎ」が相談件数の半分以上(54.1%) を占めている。また、新規プラン策定件数は、27 年度と比較すると、8 件から 46 件と大幅に增加了。その理由として、事業の周知が各関係機関等に浸透したことや、本年度からグリーンコープと協働し、家計相談支援事業を開始したため、金銭的な課題を抱えた相談者に対してのプラン策定が図れた点などが挙げられる。

④ 専門機関へのつなぎ先

専門機関へつなぐことで解決したケースは 186 件あり、中でも本会で実施している事業で解決したケースが、155 件(83.3%) であった。つなぎ先の詳細は下記のとおりである。

つなぎ先(本会内)	件数	つなぎ先(その他)	件数
キャロットサービス	88 件	家計相談支援	12 件
生活福祉資金	26 件	生活保護制度	7 件
日常生活自立支援事業	21 件	地域包括支援センター	2 件
社会福祉法人地域公益活動協議会	17 件	障害者相談支援事業所	4 件
ファミリーサポートセンター	1 件	無料低額診療制度	2 件
法務相談	1 件	筑後若者サポートステーション	1 件
居住支援協議会	1 件	福岡県地域定着支援センター	1 件
合 計	155 件	大牟田市消費生活センター	1 件
		大牟田市児童家庭課	1 件
		合 計	31 件

② 住居確保給付金事業

住居確保給付金は、離職者であって就労能力・就労意欲のある人の中で、住宅を喪失しているか、喪失するおそれのある人に対して、家賃相当額を支給することにより、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うことを目的としている。

この事業を実施するに当たっては、地域福祉推進室やハローワークと連携し、「生活保護受給者等就労自立促進事業」を活用した就労支援や、必要に応じて本会が窓口である生活福祉資金貸付事業を併用しながら、当事者の支援にあたった。

実績件数	相談件数	申請件数	支給決定件数
H28 年度	5 件	2 件	2 件
H27 年度	3 件	2 件	1 件

③ 学習支援事業

低所得世帯や不登校の中学生等を対象に、市内 3 カ所において、学習支援を行い、進学等の支援や悩み事の相談を受けた。

① 実施場所・時間

※縁側ひらばるは、特定非営利活動法人コレクティブに委託

実施場所	実施時間
手鎌地区公民館	毎週木曜日 18:00~20:00 (第 5 木曜日を除く)
三川地区公民館	毎週木曜日 18:00~20:00 (第 5 木曜日を除く)
地域の縁側ひらばる	毎週土曜日 10:00~15:00

② 参加者・ボランティア

実施場所	手鎌地区公民館	三川地区公民館	地域の縁側ひらばる
登録者数：中学生	20 名	6 名	1 名
前年度比	222%	150%	20%
登録者数：小学生	4 名	7 名	0 名
前年度比	100%	140%	0%
年間参加者数	延 516 名	延 210 名	延 38 名
ボランティア数	10 名	7 名	8 名
前年度比	143%	233%	57%

③ 相談内容

学生（参加者）	保護者
学校生活について 進路について	進路について 進学のための費用について 不登校の子の支援について



学習支援の様子

④ ボランティア会議

実施月日	第 1 回：平成 28 年 6 月 30 日 第 2 回：平成 29 年 2 月 1 日
実施場所	総合福祉センター 相談室・中会議室
実施内容	実績報告、評価（評価点・改善点）、今後についての意見交換
参加人数	第 1 回：ボランティア 6 名、市職員 3 名、社協職員 3 名 第 2 回：ボランティア 7 名、市職員 3 名、社協職員 4 名

④ 就労準備支援事業

ひきこもり等の理由ですぐに一般就労に向けた就職活動が難しいと思われる相談は23件あり、定期連絡や面談、訪問を通じてプラン作成に向けたアプローチや相談者の状況把握を行った。

本事業では、①生活習慣形成のための生活自立支援、②就労の前段として必要な社会的能力の習得のための社会自立支援、③一般就労のための基礎能力を身につける就労自立支援等、段階に応じた対応が必要となる。

本年度は、1件の就労支援プランを作成し、就職が決定した。さらに、27年度プラン作成した対象者の1名の就職が決定し、1名をハローワークが所管する就労支援事業へのつなぎを行った。その他、本会で2名が就労体験を行っている。

また、社会福祉法人地域公益活動協議会が実施した「おおむた福祉の職場説明会」への参加呼びかけを対象者に行った。

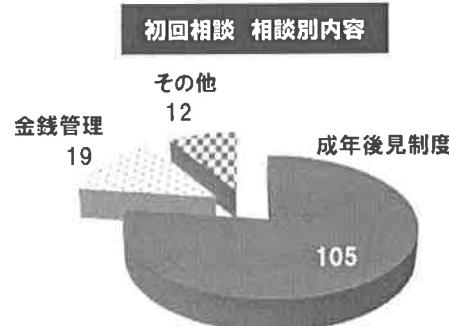
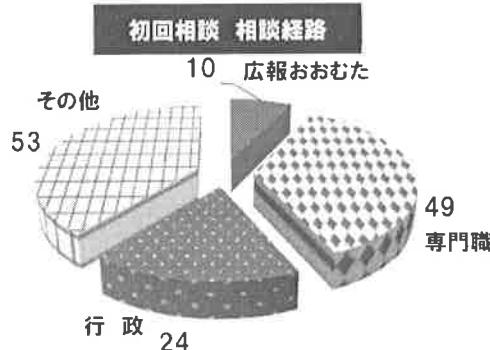
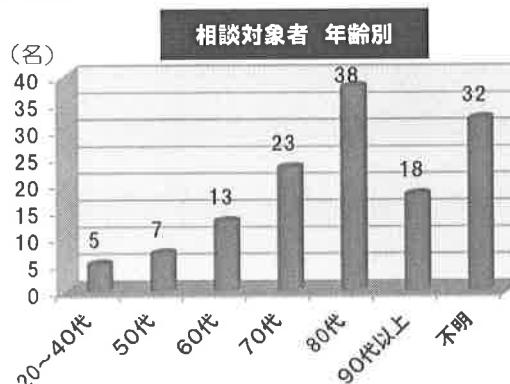
今後のひきこもり支援対策、一般就労支援前の就労体験を行う中間的就労事業所等を引き続き開拓していくことが必要である。

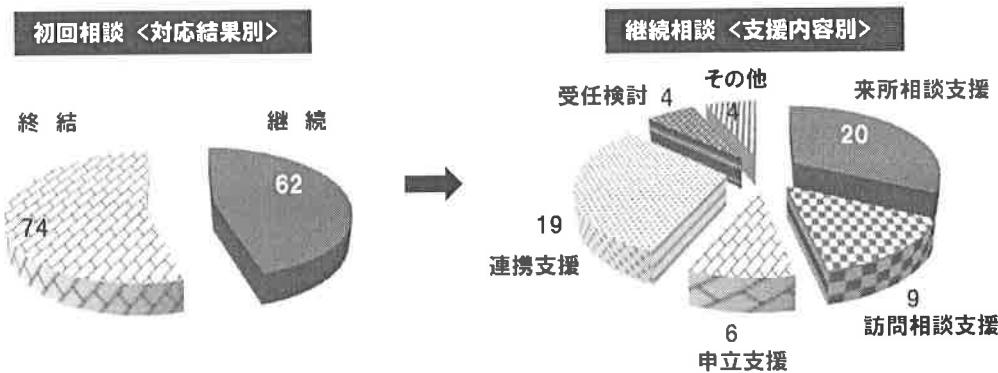
(2) 大牟田市成年後見センター運営事業(市受託事業)

平成26年4月より、大牟田市からの委託を受け、本会は、大牟田市成年後見センター（以下「センター」という。）を設置した。センターは、認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由により、判断能力が不十分な方々の権利を擁護し、支援するための法制度である成年後見制度の利用促進を図るとともに、市民後見人の養成・活用を行うことで、地域でその人らしく安心して暮らせるよう支援することを目的にセンター運営事業を実施した。

① 成年後見制度の利用や権利擁護に関する相談・助言及び対応

センターの初回相談者数は136名となった。相談対象者、相談経路、相談内容等別の傾向として次のとおりとなった。また、初回相談数のうち、初回のみの終結件数74件、継続支援件数62件となった。継続支援の延回数は267回であった。





② 市民後見人の養成、登録

成年後見活用講座

目的	より多くの人が成年後見制度を学び、活用できるようになることで、地域社会における権利擁護の推進を図る。
開催日	①平成28年6月21日～平成28年7月19日 毎週火曜日（全5回） ②平成28年8月6日～平成28年9月10日 毎週土曜日（全5回）
会場	総合福祉センター 中会議室
参加者	①受講生14名、修了生12名 ②受講生6名、修了生5名

市民後見人実務養成講座

目的	地域社会における権利擁護の推進を図るために、市民後見人登録申請および活動を前提とした人材を養成する。
開催日	平成28年9月27日～平成28年11月29日 毎週火曜日（全10回）
会場	総合福祉センター 中会議室
参加者	受講生7名、修了生7名

市民後見人実務者講座

目的	市民後見人登録者の資質の向上と次年度の登録更新における必須の更新研修として開催。
開催日	平成28年12月14日
会場	総合福祉センター 大会議室
参加者	18名

市民後見人の登録（第4期生の登録）

目的	本会で受任している被後見人等への支援者として活動する市民後見人登録者を選考・登録する。	
平成28年11月29日	市民後見人登録申請に関するオリエンテーション	説明者：7名
平成28年12月19日	第1回選考登録部会〔選考会について協議〕	
平成28年12月27日	市民後見人登録申請 締切	申請者：5名
平成29年1月19日	平成28年度 市民後見人選考 第2回選考登録部会〔選考会の結果について協議〕	
平成29年1月20日	市へ暴力団排除措置に関する照会依頼	
平成29年2月9日	市から暴力団排除措置に関する照会結果確認	
平成29年2月14日	市民後見人登録申請者へ合否を通知	登録可：5名
平成29年3月15日	市民後見人登録手続き 完了	登録者：5名

③ 市民後見人活用による法人後見受任及び市民後見人活動の支援

法人後見受任件数	市民後見人活動件数	市民後見人活動人数
23 件(後見 17、保佐 5、補助 1)	18 件	12 名

④ 成年後見制度や権利擁護に関する啓発

① 出前講座の実施：13 件

実施日	主催者・対象者	参加者数
平成 28 年 4 月 28 日	主催：大牟田市 市民生活課 対象：行政相談員、市民生活課職員	約 10 名
平成 28 年 7 月 28 日	主催：国立病院機構大牟田病院 対象：職員	約 70 名
平成 28 年 8 月 23 日	主催：木村内科 対象：職員	約 50 名
平成 28 年 10 月 11 日	主催：校区社会福祉協議会会长連絡協議会 対象：校区社協会長	約 20 名
平成 28 年 10 月 13 日	主催：民生委員・児童委員協議会 対象：校区民児協会長 等	約 20 名
平成 28 年 10 月 13 日	主催：倉永校区下方公民館 対象：地域住民	約 10 名
平成 28 年 11 月 17 日	主催：大牟田市 長寿社会推進課 対象：あんしん介護相談員	約 5 名
平成 28 年 12 月 14 日	主催：米の山病院 対象：法人職員	約 10 名
平成 29 年 1 月 15 日	主催：認知症ライフサポート研究会 対象：認知症コーディネーター養成研修受講生	約 20 名
平成 29 年 1 月 26 日	主催：グループホームいろは 対象：入居者及び家族、職員	約 30 名
平成 29 年 2 月 20 日	主催：天光園 対象：入居者家族、地域住民、職員	約 15 名
平成 29 年 3 月 8 日	主催：みずほ証券株式会社 対象：職員	約 10 名
平成 29 年 3 月 17 日	主催：銀水校区田隈公民館 対象：地域住民	約 25 名

② 成年後見啓発フォーラムの実施

実施月日	平成 29 年 2 月 17 日
実施場所	イオンモール大牟田 イオンホール
実施内容	「これで大丈夫！あなたの幸せいつまでも～今、知っておきたい相続・遺言・成年後見等～」
参加人数	市民 123 名



成年後見フォーラムの様子



市民後見人実務養成講座の様子

⑤ 成年後見センター運営管理委員会・受任検討委員会の設置及び開催

運営管理委員会	後見センター事業の適正な運営を管理・監督を目的として全 3 回開催
受任検討委員会	市民後見人の活用を前提に法人受任することの協議を目的として全 10 回開催
選考登録部会	後見センターが養成した市民後見人登録候補者を適正に選考・登録を目的として全 2 回開催
執務管理部会	後見センターに登録した市民後見人の活動が円滑に実施されるよう監督・指導・助言を目的として全 12 回開催
成年後見支援に関するあり方検討会	成年後見制度の円滑な運用に必要な体制整備についての協議を目的として全 3 回開催

(3) 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分なため、日常生活に困っている人たちに対して支援計画を作成し、生活支援員を派遣することで、自立した生活ができるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行った。

前年度から利用者が 10 名増え、生活支援員も 11 名増加したことと踏まえ、6 月には支援員間の共通認識などをを行うための事務説明及び意見交換会を開催し、3 月には講師を招いての講話、グループワークなどを行い、事業への理解や生活支援員同士の交流を深めることを目的とした研修を実施した。

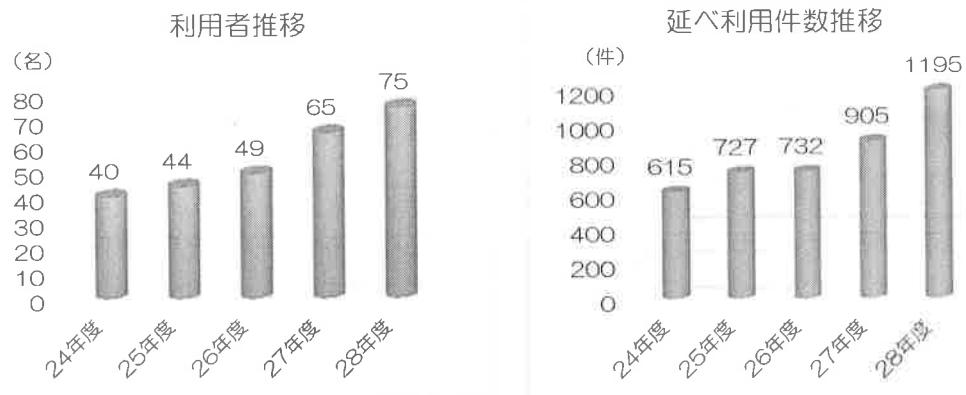
① 生活支援員研修会

生活支援員事務説明会	
実施月日	平成 28 年 6 月 29 日
実施内容	事業報告、支援内容・雇用契約についての説明、意見交換
参加者	15 名

生活支援員研修会	
実施月日	平成 29 年 3 月 16 日
実施内容	① 社会福祉協議会活動についての説明 ② グループワーク 「支援が必要な人はどういう人?」「活動にあたっての大変な視点」 ③ 講話「災害に対する日ごろの備え」 ④ 生活支援への事務説明・意見交換
講師	にいがた災害ボランティアネットワーク 事務局長 李仁鉄さん
参加者	16 名

② 日常生活自立支援事業

	利用者数	相談件数	延べ利用件数	生活支援員
H28 年度	75 名	53 件	1,195 件	45 名
前年度比	115%	84%	132%	122%



(4) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

低所得者、高齢者及び障がい者等の世帯に対して、生業、住宅、災害、福祉、就学、緊急小口、離職者等の各種資金の貸付相談の受付を行い、ケースによっては民生委員の協力を得ながら、借受世帯の自立に向けた指導、支援を行った。本年度からは、貸付希望者は全て自立相談支援事業の面談を受ける事が条件となった。

実績件数	相談件数	貸付決定件数	延滞利子支払免除申請件数	償還猶予申請件数
H28年度	133件	44件	1件	1件
前年度比	67%	113%	100%	(前年〇件)

(生活福祉資金貸付状況)

(単位：千円)

	H26年度		H27年度		H28年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
生活支援費	0	0	1	54	1	600
住宅入居費	0	0	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	1	284	0	0
福 祉 費	1	600	6	3,815	2	669
福 祉 費 (生活保護世帯)	2	132	5	367	13	961
緊 急 小 口	5	450	16	1,503	13	1,227
教育支援費	3	2,520	6	9,790	14	25,762
就学支度費	5	3,373	4	855	1	252
そ の 他	0	0	0	0	0	0
合 計	16	7,075	39	16,668	44	29,471

(5) 大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会への参加・連携・協働

地域の福祉ニーズに応える公益活動を行うことを目的とした協議会へ参加し、事務局機能を担うとともに、連携・協働しながら制度の狭間となっている問題の解決を推進した。

【年間活動報告】

開催日	主な活動内容
4月25日	・監査 ・第1回運営委員会（事業計画・予算、事業報告・決算等）
4月28日	・平成28年度総会（事業計画・予算、事業報告・決算等）
4月29日	・上内校区ゴミ屋敷清掃活動
6月 7日	・第2回運営委員会（平成28年度スケジュール、役割分担等）
6月 8日	・保育連盟への社福公益協レクチャー（内田・蔵森）
6月10日	・「平成28年度全国社協会議」…社福公益協を紹介（前田）
6月30日	・「平成28年度福岡県社協会長会議」…社福公益協を紹介（坂口委員長）
7月 1日	・「大牟田市地域福祉計画庁内会議」…社福公益協を紹介（内田）
7月 8日	・けんこう、原交会福祉会への社福公益協レクチャー（内田・蔵森）
7月15日	・社協広報紙夏号（全世帯配布）…社福公益協活動を紹介
7月20日	・第3回運営委員会（研修のあり方及び職場説明会協議、会務報告）
7月25日	・済生会大牟田病院への社福公益協レクチャー（坂口委員長・内田・前田）
8月10日	・社会福祉法人原交会福祉会加入（加入法人：17法人）
8月24日	・社会福祉法人けんこう加入（加入法人：18法人）
8月30日	・第4回運営委員会（職場説明会概要・スケジュール、上半期活動実績等）
9月20日	・第1回役員会（職場説明会概要・スケジュール、上半期活動実績等）
9月21日	・天光会への社福公益協レクチャー（緒方施設長・内田）
9月24日	・社会福祉法人天光会加入（加入法人：19法人）
10月 1日	・社協広報紙秋号（全世帯配布）…おおむた福祉の職場説明会2016案内
10月13日	・第5回運営委員会（職場説明会進捗状況・社会福祉法人制度改革改正研修会等）
10月22日	・「おおむた福祉の職場説明会2016」開催（12法人参加） イオンホール
11月 9日	・第6回運営委員会（職場説明会反省・役職員研修会等）
11月23日	・毎日新聞に掲載（「生活困窮者レスキュー事業」～社福法人地域ニーズに応え～）
11月25日	・役職員研修会「社会福祉法人制度改革への対応について」
11月30日	・福祉避難所協定締結（10法人）
12月14日	・第2回役員会（活動実績報告・生活困窮者レスキュー事業事例について）
1月17日	・北九州市立大学より社福公益協を視察（坂口委員長・前田・蔵森）
1月23日	・第7回運営委員会（ホームページ進捗・職員研修企画打合せ）
2月23日	・職員研修会「都市計画から見る今後の大牟田市について（コンパクトシティ化）」
3月 7日	・三池校区ゴミ屋敷清掃活動打合せ（4/2 清掃活動実施予定）
3月13日	・第8回運営委員会（平成29年度事業計画・予算案）

(1) 生活困窮レスキュー事業実績報告

①食糧支援 …生活保護受給まで間や年金・貸付金受給等までの食糧支援を実施した。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食材提供	13	3	15	9	15	13	9	15	4	14	9	18	127件/508食
配食サービス						12		12				17	41件/ 51食
合計	13	3	15	9	15	25	9	27	4	14	9	35	168件/559食

※ 1件あたり、4日程度の食材を提供（米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品等）

配食サービスについては、1日1件あたり、1食～2食を提供

②生活再建等までのつなぎ資金貸付…17 件

氏名	年齢	貸付額	償還額	貸付残額	償還状況	使途目的
① Fさん	31	120,000 円	6,000 円	114,000 円	滞納	平成 27 年度貸付
① Hさん	38	85,000 円	33,000 円	52,000 円	償還中	生活福祉資金交付までのつなぎ
② Yさん	74	85,000 円	40,000 円	45,000 円	償還中	保護受給者・交通事故修理代
③ Mさん	67	84,000 円	84,000 円	—	償還完了	保護受給者・エアコン設置
④ Kさん	88	78,000 円	78,000 円	—	償還完了	保護受給者・エアコン設置
⑤ Nさん	49	10,035 円	6,300 円	3,735 円	償還中	保護決定までのつなぎ生活資金
⑥ Kさん	68	71,000 円	71,000 円	—	償還完了	保護受給者・エアコン設置
⑦ Sさん	40	135,560 円	135,560 円	—	償還完了	保護決定までのつなぎ住居資金
⑧ Mさん	45	50,000 円	0 円	50,000 円	滞納	給与までのつなぎ生活資金
⑨ Yさん	75	165,300 円	165,300 円	—	償還完了	保護決定までのつなぎ住居資金
⑩ Tさん	70	159,040 円	159,040 円	—	償還完了	保護決定までのつなぎ住居資金
⑪ Tさん	70	15,420 円	15,420 円	—	償還完了	保護及び住居決定までの宿泊費
⑫ Iさん	45	20,000 円	6,000 円	14,000 円	償還中	給与までのつなぎ生活資金
⑬ Uさん	48	8,000 円	2,000 円	6,000 円	償還中	生活福祉資金交付までのつなぎ
⑭ Yさん	75	11,880 円	5,000 円	6,880 円	償還中	年金支給までのつなぎ
⑮ Sさん	34	70,000 円	0 円	70,000 円	償還未到来	修学資金の一部立替
⑯ Sさん	40	64,000 円	0 円	64,000 円	償還未到来	保護受給者・家賃立替
⑰ Nさん	73	5,000 円	0 円	5,000 円	償還未到来	治療費・後見手続までのつなぎ
計		1,237,235 円	806,620 円	430,615 円		

③ゴミ屋敷清掃…1 件 上内校区ペット・ゴミ屋敷清掃活動（約 50 名参加）

社福公益協の会員法人の職員・地域包括支援センター・医療法人が参加し、ゴミ屋敷清掃を行なった。またゴミの処分費用についても支援した。



(2) おおむた福祉の職場説明会 2016

【開催日】平成 28 年 10 月 22 日

【会 場】イオンホール 【参加法人】12 法人

【参加者】19 名



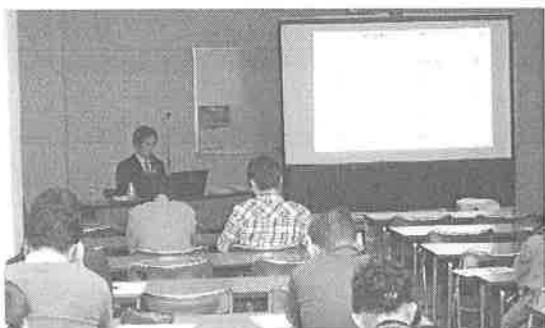
(3) 社会福祉法人地域公益活動協議会・役職員研修会

【開催日】平成 28 年 11 月 25 日 【会 場】総合福祉センター

【テーマ】『社会福祉法人制度改革への対応について』

【講 師】全国社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 藤咲 宏臣氏

【参加者】37名



(4) 福祉避難所協定締結（新たに本会会員の 10 法人が締結）

【開催日】平成 28 年 11 月 30 日 【会 場】市役所・北別館



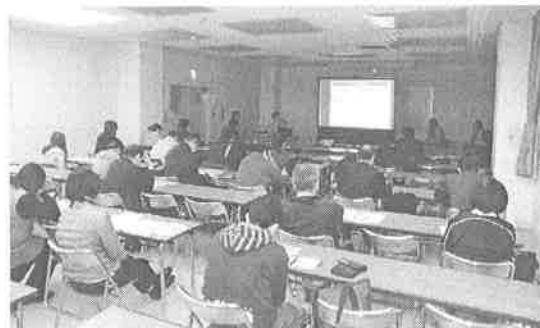
(5) 社会福祉法人地域公益活動協議会・職員研修会

【開催日】平成 29 年 2 月 23 日 【会 場】総合福祉センター

【テーマ】『都市計画から見る今後の大牟田市について』

【講 師】大牟田市都市整備部 都市計画・公園課

【参加者】26名



(6) 大牟田市居住支援協議会への参加・連携・協働

(国交省:重層的住宅セーフティネット構築支援事業補助)

地域資源としての空き家の活用と住宅確保要配慮者の円滑な入居促進及び安心して暮らせる仕組みづくりを推進するため、事務局として不動産・福祉・医療・行政等の各団体と連携して取り組んだ。

①「地域包括ケアと高齢者住まいの未来を考えるシンポジウム in おおむた」の開催

「地域善隣事業」をキーワードに国が進める住宅・福祉政策や全国各地の先進的な取組み等を紹介することで、空き家を利活用した地域サロン活用等の課題解決の場を提供し、地域資源としての利活用のきっかけにしてもらうことを目的に開催。

【開催日】平成 28 年 11 月 24 日

【会 場】大牟田文化会館 小ホール

【参加者】170 名



シンポジウムの様子

②引越しのための手順書作成及び空き家活用サポートガイドの作成

住宅確保要配慮者が入居時の手続きをスムーズに進めるため、手続きやその後の活用できる相談窓口を掲載した手順書及び空き家管理に悩む所有者へ活用を促すため、活用事例等を紹介したガイドブックを作成した。



③空き家活用無料相談会の開催

【開催日】平成 28 年 8 月 13 日 相談件数 20 件

【会 場】労働福祉会館 中ホール

【開催日】平成 29 年 1 月 28 日 相談件数 23 件

【会 場】総合福祉センター 大会議室



空き家無料相談会

④住宅確保要配慮者の実態把握調査研究の実施

住宅を確保することが困難な理由や、入居後に起こる生活課題等を把握するため、有明工業高等専門学校 創造工学科 建築コースと連携し、これまで協議会で受けてきた相談実績をもとに分析調査を実施。

【調査期間】平成 28 年 9 月～平成 29 年 2 月

⑤入居支援の実施

所有者より物件提供があった空き家を活用し、住宅確保要配慮者の入居マッチングを実施した。

＜契約件数＞

5 件（母子世帯 1 件、父子世帯 1 件、被災(地震)世帯 1 件、高齢者世帯 1 件、高齢者単身世帯 1 件）

(7) 知的障がい児・者医療支援プロジェクトへの参加・連携・協働（別掲 P46 参照）

発達障がいや知的障がいのある方が医療機関を受診する際にスムーズな受診ができるように発足された本プロジェクトでは、医療機関との連携強化、教育委員会との連携強化、当事者家族への周知・啓発、医療支援手帳・絵カード等の活用、大牟田市障害者計画策定への参画などを重点的に取り組んでいる。

本年度は、医療支援手帳の活用が円滑に進むように、医療支援手帳の見本版の作成を行った。また、救急の際の対応がスムーズに行えるように消防署との連携も図り始めることができ、今後は関係機関相互の連携を図ることで、さらなる発展が期待される。

(8) 各種相談事業

① 行政書士による法務相談（毎月第 3 水曜日）

毎月第 3 水曜日に行政書士による法務相談を実施し、家庭、離婚、金銭貸借、財産相続、事故等の相談に親身になって対応し、高度な対処法については無料弁護士相談や関係機関へ橋渡しをした。平成 28 年度の相談件数は 38 件であった。

② 福祉サービス苦情解決相談

在宅福祉サービス利用における様々な問題について、当事者間で解決できない場合は、「第三者委員会」を設置し、その解決を図ることとしている。

平成 28 年度は相談依頼がなく、開催していない。

4. 安心して子育てできる環境の整備に努めます。

(1) くぬぎ保育所の運営

保育のさらなる充実に向けて、障がい児との統合保育、食育の推進、多世代交流、子育て支援の拠点づくりなどを行った。また、昨年度秋に完成した新園舎で初めての運動会を開催した。

本年度は入所園児数 101 名（定員 90 名）でスタートし、年度末には 108 名の園児が在籍した。



新園舎での運動会

【四半期ごとの園児数】

（単位：人）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
6月	9	17	12	20	22	25	105
9月	9	17	12	20	20	24	102
12月	11	17	13	20	20	24	105
3月	14	17	13	20	20	24	108

【主な行事内容】

実施月日	内容	実施月日	内容
平成28年4月 2日	入園・進級式	平成28年 8月 27日	親子ふれあいバザー
平成28年4月 15日	3.4.5歳児遠足	平成28年10月 8日	運動会
平成28年6月 14日	プール開き	平成28年10月 26日	稻刈り
平成28年6月 29日	田植え体験	平成28年12月 2日	世代間交流餅つき
平成28年7月 2日	親子で味噌作り	平成28年12月 17日	クリスマス会
平成28年7月 9日 ～10日	年長お泊り保育	平成29年 3月 10日	お別れ遠足
平成28年7月 22日 ～23日	お祭りごっこ ちびっこ縦踊り	平成29年 3月 19日	卒園式

① 食育の推進

安全な食材でバランスの良い食事を提供すると共に、みそ作り、田植え、稻刈り等、「食」に関心が持てるような活動を積極的に取り入れ、経験を通して「食」の大切さを園児たちに伝えた。また、年に1度行う保育参観・給食試食会では、園で日頃から提供している、野菜中心で栄養価の高い食事を試食してもらい、同時に「食」の大切さを保護者にも伝えた。



年長児の稻刈り体験

② 子育て支援の拠点づくり

未就園児を対象とした園庭開放「どんぐりクラブ」では、体験保育や、給食試食を通して、園児との交流を図り、保護者から育児相談を受けるなど、保育園との信頼関係を構築する場となった。

【どんぐりクラブ（園庭開放）参加人数】

月	参加者数	内容
5月	13名（6組）	リズム遊び
6月	21名（10組）	どろんこ遊び
7月	18名（9組）	たなばた祭り
8月	11名（5組）	プール遊び
9月	19名（9組）	お絵かき遊び
11月	23名（10組）	お散歩
12月	24名（11組）	もちつき
1月	20名（9組）	お正月遊び
2月	20名（9組）	リズム遊び
3月	23名（11組）	おひな祭り



どんぐりクラブの様子



デイサービス・多世代交流

(2) 放課後児童健全育成事業等の実施(市受託事業)

① 学童保育所運営(三池・高取・中友・白川・大牟田中央)

放課後児童対策として、昼間児童の養育ができない家庭などの児童に対して、適切な遊びと生活の場を提供するとともに、各学童保育所においては、地域組織等と連携し様々な多世代間交流事業を実施した。

学童保育所名	三 池	高 取	中 友	白 川	大牟田中央	合計
児童数(人)	41	18	18	38	36	151



② 支援員の研修受講

毎月の支援員会議での運営状況報告・事例検討をはじめ、救急救命講習・障がい児研修・保護者対応の研修など、より良い支援のために研修を実施した。

また、支援員のスキルアップを目的として、様々な研修に積極的に参加した。

【主な研修内容】

実施日	内容	参加者
平成28年 5月 10日	学童保育制度と保護者との関係づくり	13名
平成28年 6月 14日	救急救命講習会	15名
平成28年 9月 2日	平成28年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	5名
平成28年 9月 15日	平成28年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	5名
平成28年 9月 29日	子どもたち自身が犯罪から身を守る絵辞典活用講座	10名
平成28年 10月 1日	平成28年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	5名
平成28年 10月 11日	特別な支援が必要と思われる子どもの保護者への対応	12名
平成28年 10月 13日	平成28年度福岡県放課後児童支援員認定資格研修会	5名
平成28年 10月 29日 ～10月 30日	第51回 全国学童保育研究集会	1名
平成28年 11月 20日	運営指針学習会	1名
平成29年 1月 20日	平成28年度放課後児童支援員スキルアップ研修会	1名
平成29年 1月 22日	第35回 福岡県学童保育研究集会	2名
平成29年 1月 27日	社会へ自立していくための育成支援	8名
平成29年 3月 2日	平成28年度大牟田市学童保育所障害児保育研修会	11名

(3) 大牟田市ファミリー・サポート・センター事業運営(市受託事業)

子育てのお手伝いをしたい人（協力・相互会員）と子育ての手助けをしてほしい人（利用会員）との相互援助活動（コーディネート）を行うとともに、協力・相互会員養成講座の実施や事業の周知啓発に努めた。

① 会員の登録及び活動

区分	登録会員数	前年度比	依頼件数（内キャンセル数）
利用会員	691名	102%	1031回（161回） 前年度比：115%
協力会員	78名	92%	
相互会員	73名	94%	
合計	842名	99.8%	

② 会員養成講座の実施

実施日（回数）	内容等	新規登録者数
平成 28 年 11 月 (全 5 回)	協力会員養成講座（市民サポーター養成講座の一環として開催） 受講者数：延 121 名	協力会員：6 名

③ ステップアップ講座の実施（全 4 回）

実施日	内容等	受講者数
平成 28 年 11 月 9 日	「上手なコミュニケーション：傾聴を学ぶ」	5 名
平成 28 年 11 月 16 日	「片付けボランティア力アップ」	4 名
平成 29 年 2 月 17 日	「簡単おもてなし料理」	7 名
平成 29 年 3 月 18 日	「片付けなさいと言う前に」	8 名

④ 安全対策講習会の実施

実施日	内容等	受講者数
平成 28 年 11 月 18 日	幼児安全法 子どものケガや病気の手当の仕方	6 名

⑤ 交流会の実施

実施日	内容等	参加者数
平成 28 年 12 月 3 日	「もちつき交流会」 会員と子どもや家族	51 名



もちつき交流会の様子

(4) チャイルドシートの貸出

チャイルドシート	ジュニアシート	貸出総件数	前年度比
26台	9台	217件	94%

事業棚卸やチャイルドシートの老朽化等により、平成 29 年 3 月末をもって事業を終息させた。

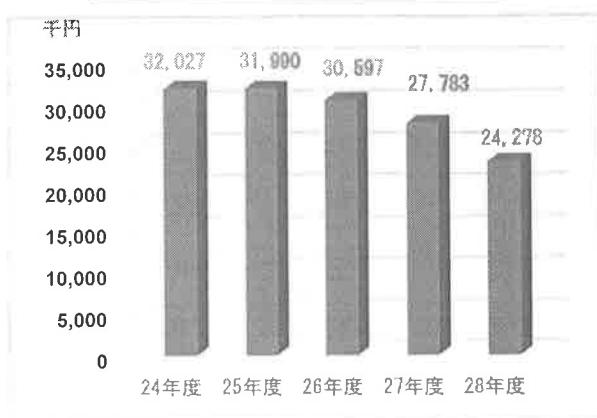
5. いつまでも元気に暮らすために在宅生活を支援します。

(1) 高齢者福祉対策の推進

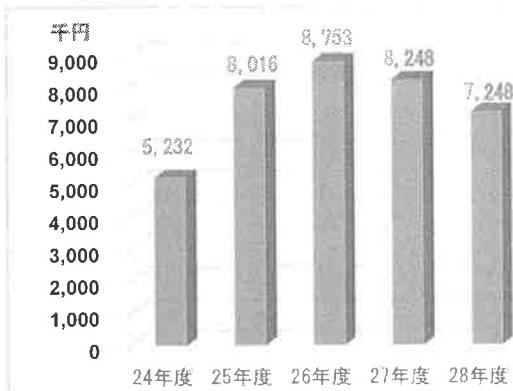
① 介護保険事業の実績

訪問介護（ホームヘルパー派遣）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）、居宅介護（ケアプランの作成）、通所介護（デイサービス）の事業を実施し、要支援、要介護者の在宅生活を支援した。

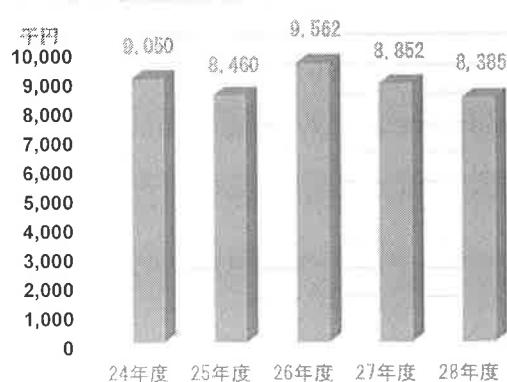
訪問介護事業（ホームヘルプ）実績



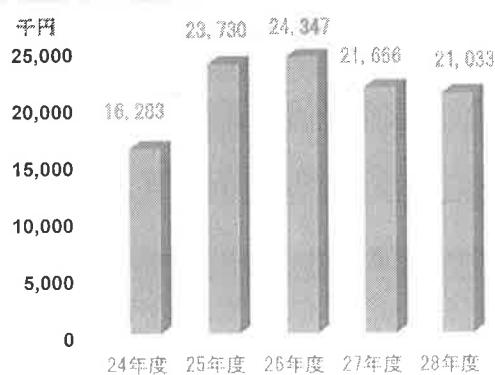
訪問入浴事業（入浴サービス）実績



居宅介護支援事業（ケアプラン）実績



通所介護事業（ふれあい処えいる）実績



【平成 28 年度介護保険事業の総括】

- 訪問介護事業では前年度実績より、事業件数については 746 件減、収入面では 3,505 千円減となった。これは頻回利用していた利用者（要介護）の入院・入所・死亡等が重なったことが大きな要因となった。

- 訪問入浴事業では前年度実績より 1,000 千円減となり、事業件数は 79 件減となった。長期利用者の死亡やターミナルケアでの利用等、利用者の増減がめまぐるしく変動したことが大きな要因であった。
 - 居宅介護支援事業は前年度実績より 467 千円減であった。これは、要介護 1~2 の利用者が、家族と同居の為の転居や、施設入所及び長期入院された方の数が新規受入れ数と比較して多かったためである。
 - 通所介護（えいる）事業では、前年度実績より 633 千円減となっているが、逆に利用件数は 170 件増であった。これは、要介護度が高い傾向の利用者が施設入所、死亡によることが大きな要因である。新規利用者や利用日追加にて利用件数は増となるが、介護度の低い利用者が増え、一人あたりの介護報酬単価が下がったことが要因と考えられる。
- ※ 4 事業合計として、前年度実績と比較すると 5,605 千円収入減という結果となった。

(各年度事業実績)

事 業 名		H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度
訪問介護 サービス	収入（円）	32,027,405	31,990,254	30,596,792	27,782,816	24,277,610
	件数（件）	9,683	9,713	9,275	8,109	7,363
訪問入浴 サービス	収入（円）	5,232,207	8,016,180	8,752,500	8,248,060	7,247,680
	件数（件）	411	624	689	647	568
居宅介護 支援事業	収入（円）	9,050,200	8,459,620	9,561,730	8,852,290	8,385,220
	件数（件）	847	792	789	867	832
通所介護 (えいる)	収入（円）	16,283,080	23,730,030	24,347,220	21,665,861	21,032,681
	件数（件）	1,763	2,541	2,886	2,536	2,706
総合計	収入（円）	62,592,892	72,196,084	73,258,242	66,549,027	60,943,191
	件数（件）	12,704	13,670	13,639	12,159	11,469

②介護予防・相談センターの運営（市受託事業）

中央地区地域包括支援センターのサブセンターとして、介護認定により要支援と認定された高齢者及び介護予防・日常生活総合事業対象（なんらかの機能低下が見られる）高齢者に対して、介護予防プラン等を作成し、心身の健康保持、生活の安定のために関係機関、サービス実施事業者と連携して支援を行った。また地域の民生委員等からの相談に同行し、訪問相談を実施した。さらに、介護予防の普及・啓発を目的とした介護予防啓発教室や健康相談の場を設け、地域住民の健康増進に努めた。

(各年度事業実績)

事 業 名		H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度
介護予防・ 相談センタ-	収入（円）	4,853,480	5,982,120	6,485,110	6,218,700	5,967,000
	件数（件）	704	956	1,092	969	904

③「在宅介護者の会」の活動支援

在宅介護者に対する情報提供、相互交流を目的とする「在宅介護者の会」の事務局を行い、様々な活動支援を行った。

■大牟田市在宅介護者の会「げんきかい」…会員数 14 名

【目的】在宅介護者が本音で語り合い、交流することを通じて、仲間づくりを行うとともに「介護」にかかる課題を解決していくことを目的に実施。

【定例会】毎月第 4 水曜日

介護体験を語るおしゃべり会を中心に、学習会、レクリエーションなどを実施。

また、年 2 回、日帰り温泉旅行などリフレッシュ事業にも取り組んだ。

④ホームヘルパー研修

開催日	講師	研修内容	参加者
平成 28 年 5 月 18 日	大牟田市健康対策課 小柳 久氏	食中毒予防対策について	29 名
平成 28 年 7 月 27 日	大牟田市社協 職員	認知症の理解と支援ポイントについて	30 名
平成 28 年 8 月 17 日	大牟田市社協 職員	介護予防・日常生活総合事業について	27 名
平成 28 年 9 月 28 日	大牟田警察署 交通課	交通安全について	19 名
平成 28 年 10 月 19 日	大牟田市健康対策課 小柳 久氏	インフルエンザ・ノロウイルスについて	33 名
平成 28 年 11 月 22 日	大牟田市障害者協議会 事務局長 大場和正氏	障害福祉の社会学	18 名
平成 28 年 12 月 21 日	大牟田市社協 職員	高齢者の食事 「糖尿病・腎臓病・高血圧患者の食事について」	28 名
平成 29 年 1 月 25 日	大牟田消防署 警防課	救急救命講習	11 名
平成 29 年 2 月 15 日	大牟田市社協 職員	解剖生理学に基づく高齢者の心身の変化と 緊急時の対応について	29 名
平成 29 年 3 月 30 日	パナソニックエイジフリー 小柳貴敬氏	福祉用具使用時のヒヤリハットについて	18 名

⑤ホームヘルパー等実習受入

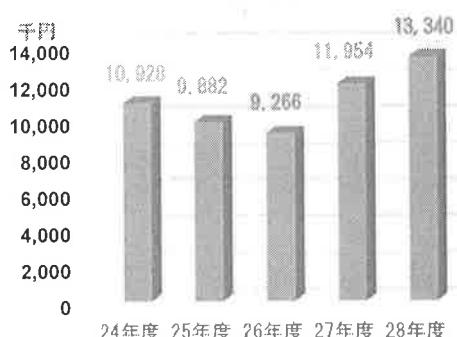
日 程	実習受入先	受入人数
平成 28 年 5 月 16 日	荒尾市社会福祉協議会	1 名
平成 28 年 5 月 30 日	荒尾市社会福祉協議会	1 名
平成 28 年 8 月 8 日～8 月 9 日	九州大谷短期大学	2 名
平成 28 年 8 月 18 日～8 月 19 日	九州大谷短期大学	3 名
平成 29 年 2 月 15 日～2 月 17 日	九州大谷短期大学	2 名
平成 29 年 2 月 22 日～2 月 24 日	九州大谷短期大学	2 名

(2) 障がい児・者福祉サービス事業の推進

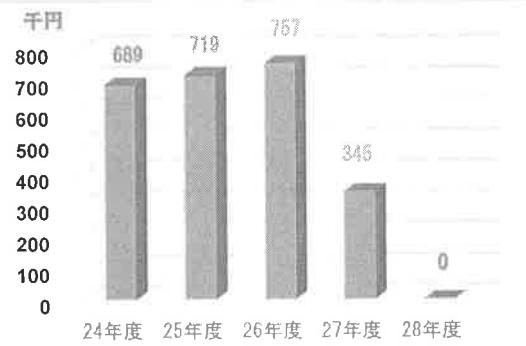
① 障害者自立支援サービス事業

障害区分認定を受けた在宅の障がい者に対して、居宅サービス（家事・通院支援・視覚障害者同行援護）移動支援（ガイドヘルパー派遣）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）、の3事業を実施し、在宅生活を支援した。

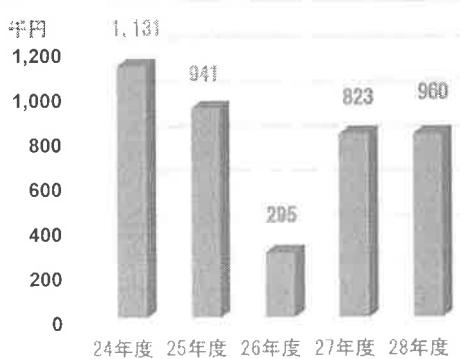
障害者居宅サービス事業（家事・同行）実績



障害者移動支援事業（ガイドヘルプ）実績



障害者訪問入浴サービス事業実績



【平成 28 年度障害者 自立支援サービス事業の総括】

- 居宅サービス事業では前年度実績より 1,389 千円増、事業件数については、286 件の減となつた。同行援護では利用者死亡・転居等の件数減はあったが、1 人あたりの利用時間増加が要因である。
- 移動支援事業は本年度利用なしのため、前年度実績より 345 千円の減。
- 訪問入浴サービス事業では前年度実績より 137 千円増、事業件数 14 件増となつた。利用者は 1 名だが、週 2 回ペースで、毎月 8~9 回コンスタントにサービス実施している。

※ 3 事業合計として、前年度実績と比較すると 1,177 千円収入増という結果となつた。

事業名	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
障害者居宅 サービス事業	収入(円)	10,927,730	9,881,849	9,265,680	11,954,138
	件数(件)	2,726	2,468	2,338	2,118
障害者移動 支援事業	収入(円)	689,370	719,234	757,160	345,095
	件数(件)	355	368	385	110
障害者入浴 サービス事業	収入(円)	1,130,500	940,500	294,500	822,700
	件数(件)	119	99	31	87
総合計	収入(円)	12,747,600	11,541,583	10,317,340	13,121,933
	件数(件)	3,200	2,935	2,754	2,315

② 知的障がい児・者医療プロジェクトの支援

本年度は、医療支援手帳の活用が円滑に進むように、医療支援手帳の見本版の作成を行った。また、医療支援手帳配布チームと活用チームを立上げ、医療支援手帳の周知啓発を図った。

その後、チーム再編を行い、医療機関対応と養護教諭連携のチームを立ち上げ、医師会や教育委員会との連携を推進する体制を作った。また、救急の際の対応がスムーズに行えるように消防署との連携も図った。



【プロジェクト会議】

実施月日	主な内容	参加者数
平成 28 年 4 月 19 日	第 37 回知的医療支援 PT コア会議	3 名
平成 28 年 4 月 25 日	第 37 回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 平成 28 年度活動計画(案)について (2) 教育委員会との意見交換会について	15 名
平成 28 年 5 月 11 日	大牟田医師会看護学校 知的障がい児・者医療支援に関する報告会	55 名
平成 28 年 6 月 21 日	第 38 回知的医療支援 PT コア会議	4 名
平成 28 年 6 月 24 日	第 38 回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 平成 27 年度活動の振り返り ①「配付等に関する取り組み」(配付コーディネートチーム) ②「活用支援に関する取り組み」(活用支援チーム)	15 名
平成 28 年 7 月 20 日	医療支援手帳活用支援チーム会議	10 名
平成 28 年 8 月 3 日	大牟田市教育委員会 学校指導室長との意見交換会	10 名
平成 28 年 8 月 7 日	発達障害児への視覚支援技術を学ぶ研修会	10 名
平成 28 年 8 月 23 日	第 39 回知的医療支援 PT コア会議	4 名
平成 28 年 8 月 26 日	第 39 回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 大牟田市障がい者自立支援・差別解消支援協議会 (2) 平成 28 年度活動計画について(進捗状況)	16 名
平成 28 年 9 月 23 日	医療支援手帳活用支援チーム会議	8 名
平成 28 年 10 月 18 日	第 40 回知的医療支援 PT コア会議	4 名
平成 28 年 10 月 28 日	第 40 回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 今後のチームの取り組みについて(再編成) ①A チーム(医療機関対応) ②B チーム(養護教諭との連携)	13 名
平成 28 年 11 月 21 日	医療支援手帳活用支援チーム会議	8 名
平成 28 年 12 月 9 日	大牟田消防署との打ち合わせ	5 名
平成 28 年 12 月 19 日	医療支援手帳活用支援チームと大牟田消防署との意見交換会	16 名
平成 29 年 1 月 25 日	第 41 回知的医療支援 PT コア会議	4 名
平成 29 年 1 月 27 日	第 41 回知的障がい児・者医療支援プロジェクト会議 (1) 各チームより活動進捗状況について	16 名
平成 29 年 3 月 22 日	医療支援手帳活用支援チーム会議	4 名

6. 地域福祉の推進役を果たすために市社協の基盤を強化します。

(1) 社会福祉法人制度改革についての対応

昨年社会福祉法人制度の大きな改革法案が成立し、本会においても平成 29 年 4 月の施行に向けて準備を行ってきた。

この制度改革では、「経営組織のガバナンスの強化」や「事業運営の透明性の向上」、社会福祉充実残額を保有する法人に対し「社会福祉充実計画作成」が義務付けられることとなった。また、評議員の選任は理事会ではなく、評議員選任・解任委員会にて行うことになった。評議員の任期も 2 年から 4 年以内になるなど、評議員の権限が更に強化される内容となっている。制度改革に関する事項は次のとおりである。

① 定款の変更

第 7 回理事会及び第 3 回評議員会において、社会福祉制度改革や収益事業終息に伴う定款変更（案）の承認を受け、平成 28 年 12 月 22 日付で大牟田市へ定款変更申請を行った。平成 29 年 1 月 10 日付で、定款変更の認可を受けたところである。加えて、定款変更認可に伴い、第 10 回理事会において、経理規程の一部改正について承認を得た。

② 社会福祉法人制度改革研修会

第 6 回理事会に際し、理事を対象に、また平成 28 年 12 月 15 日に評議員を対象に、「社会福祉法人制度改革のポイントについて」の勉強会を実施した。

③ 評議員選任・解任委員会運営規程について

第 8 回理事会において、評議員選任・解任委員会運営規程（案）及び評議員選任・解任委員（案）について、理事会の承認を得た。

【評議員選任・解任委員】

区分	氏名	経歴
外部委員	安藤 寛治	元理事 大牟田市介護支援専門員連絡協議会会長
〃	植田 尚子	元倉永校区社会福祉協議会会长 福岡県共同募金会大牟田市支会副会長
監事	西山 明	大牟田市社会福祉協議会 監事
〃	中川 慶道	大牟田市社会福祉協議会 監事
事務局員	内田 勉	大牟田市社会福祉協議会 事務局長

④ 評議員選任・解任委員会の開催

第 10 回理事会において、評議員候補者の推薦の承認を受け、平成 29 年 3 月 30 日に第 1 回評議員選任・解任委員会を開催し、評議員候補者全員が新評議員に選任された。

(2) 大牟田善意銀行の啓発強化

大牟田善意銀行預託状況

(寄付金等預託状況)

	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度
一般寄付	412 件	326 件	363 件
金額	8,159,748 円	7,956,213 円	8,024,282 円
物品寄贈件数	18 件	19 件	17 件

(3) 賛助会員制度

(賛助会員数等の推移)

	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度
会員数(個人・団体)	420	430	404
金額	1,127,100 円	1,114,100 円	1,104,000 円

(4) 社協広報の充実

① 広報紙 社協だより「きらり」の発行

年4回(4月・7月・10月・1月)、全世帯を対象に発行している社協福祉情報「きらり」を発行した。



② 社協事務局通信「きらり」の発行

毎月1回、社協事務局通信「きらり」を発行し、タイムリーな情報を提供した。

発行月	特集内容	発行月	特集内容
4月	サロン活動	10月	赤い羽根共同募金
5月	震災復興のためにできること	11月	歴木保育所
6月	障がいのある人、ない人、共に生きる社会をつくるために	12月	歳末たすけあい募金
7月	市民サポーター	1月	地域福祉大会
8月	福祉委員	2月	福祉サービス担当業務紹介
9月	社会福祉士の役割	3月	平成28年度の振り返り

③ ホームページの運営

ホームページ運営委員会を定期的に開催し、内容の充実や改善を図り、社協及びくぬぎ保育所のホームページにて、行事開催案内や報告など様々な取り組みについて、随時情報提供を行った。

- ① 社協ホームページ (<http://www.omshakyo-kizuna.com/>)
- ② くぬぎ保育所ホームページ (<http://www.omshakyo-kizuna.com/kunugi/>)



(5) 総合福祉センターの運営

① 総合福祉センター利用状況

	H26年度	前年比	H27年度	前年比	H28年度	前年比
会場使用料収入(円) ①	2,288,521	111.0%	1,446,094	63.2%	1,321,919	91.4%
ヘルストロン利用収入(円) ②	1,103,000	79.8%	716,200	64.9%	686,900	95.9%
賃貸料収入(円) ③	6,144,200	115.6%	7,419,177	120.8%	6,496,062	87.6%
手数料収入(円) ④	289,135	94.5%	265,457	91.8%	290,858	109.6%
利用収入計(円) (①+②+③+④)	9,824,856	108.4%	9,846,928	100.2%	8,795,739	89.3%

② 総合消防訓練

平成29年2月23日、ボランティア連絡協議会と合同で、総合消防訓練を実施した。1階給湯室からの出火を想定し、それぞれの役割分担（初期消火班・避難誘導班・非常持出班・救助班）に分かれ、センター利用者を火元から遠い階段を使って避難誘導し、駐車場へ避難させた。初期消火では、屋内消火栓を用いた訓練を行った。避難訓練後は、けむり体験テントの体験や屋内消火栓の使用方法を学び、約60名の参加のもと、消防訓練を行った。

③ ヘルストロン事業の廃止

ヘルストロンは、健康維持・増進のため、昭和60年の総合福祉センター開設時に設置し、多くの方に愛用されてきた。しかし、2回目の本体装置買い替えより約16年が経過し、ヘルストロン設備の本体が老朽化しており、また現機種が廃版品であり、修理も難しいことから、やむなく平成29年3月末をもって、事業終息に至った。

(6) 自主避難所の開設

平成28年度は4月の熊本地震をはじめ、大雨や台風といった自然災害が多く発生したため、総合福祉センターを自主避難所として延べ10日間開設した。熊本地震の際は、地域の一人暮らしの高齢者や障害をお持ちの方など多数来所され、災害時対応の重要さを痛感した。今後の自主避難所開設の情報提供のあり方が課題となった。



【自主避難所開設（21:00～翌日 8:00まで）】

熊本地震	4/15	4/16	4/18	4/19	4/20	4/21
来館者	4名	50名	56名	18名	20名	3名
対応職員数	2名	4名	3名	3名	3名	3名

大雨	6/22	台風接近	9/4	9/19	10/4	合計
来館者	0名	来館者	12名	7名	8名	178名
対応職員数	2名	対応職員数	2名	2名	2名	25名

(7) 福祉バス等貸出事業

福祉団体等の福祉増進のため、各種大会や研修会等の参加に際して、福祉バスを運行した。また、福祉行事のための荷物等を運搬する軽トラックの貸出も実施した。

利用状況	H 26 年度		H 27 年度		H 28 年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
福祉バス	84回	2,835名	86回	2,517名	80回	3,909名
軽トラック	6回		4回		12回	

(8) 車椅子貸出事業

在宅の高齢者・障がい（児）者等に対して、日常生活の便宜と介護者の負担軽減を図るため、延 144 名に無料で車椅子を貸し出した。

(9) 車両の寄贈

平成 28 年 7 月、福岡県民共済生活協同組合様より車両（スペーシア号）の寄贈を受けた。



(10) 市立病院ホスピタルローソンの事業撤退

平成 25 年 1 月に、市立病院ホスピタルローソンを開業し、お弁当などの定番商品の他、入院生活に必要な日用品、淹れ立てのコーヒーなど豊富な品揃えで、固定客の獲得に努める一方で、恵方巻き等の季節商品などの店舗外営業にも鋭意努力を行ってきた。しかしながら、厳しい経営状況は続き、理事会および評議員会の了承を得て、9月末をもって事業を終息し、(株)ローソンとフランチャイズ契約解除に至った。本会撤退後は、(株)ローソン直営となった。



ホスピタルローソン店内

(11) 職員研修の取組み

開催日	テーマ	講 師	参加人数
平成28年 9月28日	安全運転講習	大牟田警察署 交通総務係長 江口誠さん	66名
平成28年 11月22日	障がい福祉の社会学	大牟田市障害者協議会 事務局長 大場和正さん	51名
平成29年 1月25日	普通救命講習	大牟田市消防署 警防課	56名
平成29年 3月16日	協働型災害ボランティア 設置に関する研修会	にいがた災害ボランティアネットワーク 事務局長 李仁鉄さん	16名

(12) 観察受入及び出前研修等について

受入月日	主な内容
平成28年 4月22日	■唐津市厳木地区社協視察受入 ・大牟田市における小地域ネットワーク活動等について
平成28年 4月28日	□大牟田ロータリークラブ研修 ・大牟田市における生活困窮者に対する取組みについて
平成28年 6月15日	□中央地区地域包括支援センター職員研修 ・大牟田市における生活困窮者に対する取組みについて
平成28年 7月 4日	■飯塚市社協視察受入 ・大牟田市社会福祉協議会ビジョンについて
平成28年 7月25日	□済生会大牟田病院経営会議研修 ・大牟田市における生活困窮者に対する取組みについて
平成28年 8月24日	■久留米市西国分校区社協視察研修受入 ・地域における認知症に対する取組みについて
平成28年 9月26日	□大牟田地区更生保護女性会研修 ・大牟田市における生活困窮者に対する取組みについて
平成28年 11月 9日	■北海道社協職員連絡協議会視察研修受入 ・生活支援コーディネーターの取組みについて
平成28年 11月12日	■JAみなみ筑後青年部研修受入 ・地元子ども食堂の取組みについて
平成28年 11月14日	■朝倉市立石コミュニティ協議会 福祉委員会視察受入 ・認知症高齢者の現状把握と対応について
平成28年 11月21日	■筑後市社協視察研修受入 ・生活支援サービス（住民参加型在宅福祉サービス）について
平成28年 11月25日	■糸島市社協視察研修受入 ・大牟田市社会福祉協議会ビジョンについて
平成28年 12月 5日	■鹿児島県市町村社協連絡協議会視察受入 ・生活支援コーディネーターの取組みについて ・大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会の取組みについて ・生活困窮者支援事業について
平成28年 12月 8日	□新任民生委員・児童委員研修 ・大牟田市における生活困窮者に対する取組みについて
平成28年 12月10日	□大牟田市母子寡婦福祉会研修 ・大牟田市における生活困窮者に対する取組みについて
平成29年 1月12日	□駿馬・勝立地区エリアケアマネジャー研修 ・大牟田市における生活困窮者に対する取組みについて
平成29年 3月15日	■みやま市竹海校区社協視察受入 ・地域組織の運営と小地域ネットワーク活動について

※ ■…市外からの視察受入 □…市内の団体等からの出前研修

(13) 社会福祉士相談援助実習の受入

受入期間	平成28年8月17日～9月20日(24日間)
受入人数	3名 福岡県立大学1名、筑紫女子学園大学1名、日本福祉大学1名
実習内容	ソーシャルワーク、社会福祉協議会の役割と事業 等

(14) 障害者就労・自立支援センターたんぽぽからの実習生の受入

受入期間	① 平成28年8月29日～9月9日(10日間) ② 平成28年9月14日～9月30日(11日間) ③ 平成28年10月24日～10月28日(5日間)
受入人数	各1名
実習内容	共同募金関係庶務、データ入力業務 等

～各種会議・各種委員会報告～

(1) 理事会開催状況

会議名	月日	内 容
第1回理事会	平成28年4月1日	・議案第1号…会長の選任について ・議案第2号…副会長の選任について ・議案第3号…常務理事の指名について ・議案第4号…会長の職務代理者の指名について ・議案第5号…理事業務担当制部会について
第2回理事会	平成28年4月19日	・議案第6号…まちの縁側「築町えいる」事業運営について
第3回理事会	平成28年5月27日	・議案第7号…平成27年度事業報告について ・議案第8号…平成27年度収支決算について 平成27年度監査報告について
第4回理事会	平成28年6月21日	・議案第9号…福祉資金・資金運用(案)について ・議案第10号…評議員及び理事選出規程の改正(案)について ・議案第11号…評議員の同意について
第5回理事会	平成28年8月17日	・議案第12号…平成28年度補正予算(案)について ・議案第13号…顧問の委嘱について
第6回理事会	平成28年11月15日	・議案第14号…大牟田市社会福祉協議会・内部登用制度による一般職員(正規職員)採用について ・議案第15号…ヘルストロン事業の廃止について
第7回理事会	平成28年12月8日	・議案第16号…社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会定款変更(案)について ・議案第17号…一般職員内部登用試験についての一部見直しについて ・議案第18号…喫茶サロン(すずらん)閉店に伴う事業者の決定について
第8回理事会	平成29年2月21日	・議案第19号…評議員選任・解任委員会運営規程(案)について ・議案第20号…評議員選任・解任委員の選任(案)について
第9回理事会	平成29年3月10日	・議案第21号…平成28年度補正予算(案)について
第10回理事会	平成29年3月30日	・議案第22号…平成29年度事業計画(案)について ・議案第23号…平成29年度資金収支予算(案)について ・議案第24号…経理規程の改正(案)について ・議案第25号…評議員候補者の推薦について

(2) 評議員会開催状況

会議名	月日	内容
第1回評議員会	平成28年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第1号…平成27年度事業報告について 議案第2号…平成27年度収支決算について 平成27年度監査報告について
第2回評議員会	平成28年8月17日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第3号…理事の選任について 議案第4号…平成28年度補正予算(案)について
第3回評議員会	平成28年12月15日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第5号…社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会定款変更(案)について
第4回評議員会	平成29年3月10日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第6号…平成28年度補正予算(案)について
第5回評議員会	平成29年3月30日	<ul style="list-style-type: none"> 議案第7号…平成29年度事業計画(案)について 議案第8号…平成29年度資金収支予算(案)について

(3) 各部会・委員会開催状況

会議名	月日	内容
三役会		
第1回経営企画部会 (合同会議)	平成28年6月10日	<ul style="list-style-type: none"> 福祉資金・資金運用について
三役会 第1回総務部会 第2回経営企画部会 (合同会議)	平成28年11月11日	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人制度改革のポイントについて 大牟田市社会福祉協議会・内部登用制度による一般職員(正規職員)採用について 事業棚卸について
表彰審査委員会	平成28年11月15日	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度大牟田市社会福祉協議会表彰審査
三役会 第2回総務部会 (合同会議)	平成29年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業計画(案)および平成29年度資金収支予算(案)について
第1回評議員選任・解任委員会	平成29年3月30日	<ul style="list-style-type: none"> 評議員の選任について



理事会の様子



評議員会の様子

平成28年度 役員、評議員等名簿

〔理事・監事〕

選出区分	氏 名	備 考
学識経験者	川満 佳代子	会 長
校区社協代表	家入 進	副会長
民生委員・児童委員代表	阿津坂正晴	//
学識経験者	坂口 英治	常務理事
校区コミュニティ連協代表	芳川 勝	理 事
社会福祉事業施設代表	井田 謙	//
福祉団体代表	大場 和正	//
ボランティア団体代表	杉野有美子	//
社会福祉関係公務員代表	大久保徳政	//
市議会代表	森 遵	//
学識経験者	山崎 安則	//
//	西山 明	監 事
//	中川 慶道	//

〔評議員〕

選出区分	氏 名	備 考
校区社協代表	汐待律子	
//	三浦紀子	
//	塩塚國凱	
//	猿渡英昭	
//	松尾満次	H28.6.20 辞任
//	田口文博	H28.6.21 就任
//	林田寿	
民生委員・児童委員代表	奥園繁俊	
//	徳永京子	
校区コミュニティ連協代表	萬矢勝保	
ボランティア団体代表	清田純次	
NPO法人代表	平田聖子	
社会福祉事業施設代表	猿渡保生	
//	緒方壯二郎	
福祉団体代表	糸原正則	
//	西河マス子	
//	松尾サダ子	
社会福祉関係公務員代表	村上義弘	
市議会代表	三宅智加子	
学識経験者	中尾哲郎	
//	安藤謙治	
//	関誠	
//	奥園征裕	
//	大塚力久	

〔顧問〕

学識経験者	氏 名	備 考
前社協会長	西村直	H28.8.17 就任